

さいたま市
大宮盆栽美術館
年報

第13号



令和4(2022)年度

さいたま市
大宮盆栽美術館

さいたま市
大宮盆栽美術館
年報

第13号

令和4(2022)年度



目 次

I 概 要

1 設立の経緯	1
2 方針	1
3 沿革	1
4 組織	2
5 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会	3
6 さいたま市盆栽資料等選考評価委員会	3
7 施設	4
8 展示室	5
(1) コレクションギャラリー	5
(2) 企画展示室	6
(3) 盆栽庭園	6
9 さいたま国際盆栽アカデミー実習場・培養場	7
10 コレクションガイド（館内検索システム）	7
11 映像コーナー	8
12 情報コーナー	8
13 音声ガイド	8
14 ウェブサイト	8
15 盆美eガイド	9

II 展覧会事業

1 通常展	10
(1) 【季節の展示】 盆栽展〈四季〉	10
(2) 【歴史と文化】 盆栽クロニクル—年代記—	13
2 企画展・特別展	14
(1) 夏休み子どもぼんさい美術館	14
(2) 山水涼景～水石の世界	15
(3) 白砂と石の風景—「盆石」の旅	16
(4) 特別展 Life with Bonsai ～はじめよう、盆栽のある暮らし	17
(5) 第31回 作家展（日本盆栽作家協会）	21
(6) 子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽	22

III 普及事業

1 定例講座	23
(1) 盆栽ワークショップ—はじめての盆栽づくり	23
(2) 子ども向けワークショップ—はじめての盆栽づくり	24
(3) 盆栽実技	25
(4) スライドトーク	25
2 特別講座	26
(1) 夏休みワークショップ—こけ玉盆栽づくり	26
(2) 盆栽植え替えデー	27
(3) 出張講座等	27

3	学校連携	28
(1)	学校見学	28
(2)	出張盆栽授業	29
(3)	埼玉県立浦和北高等学校・越谷西高等学校 盆栽作品展	30
4	イベント	31
(1)	ゆかた de 盆美	31
(2)	みんな de 盆栽になろう in さいたま市大宮盆栽美術館	31
5	館外イベント出展事業（アウトリーチ活動）	31
6	ボランティアの活動	32
IV	さいたま国際盆栽アカデミー	33
1	日本人向けコース	33
2	外国人向け中級コース（盆栽愛好者向け講座）	34
3	（仮称）さいたま国際盆栽アカデミー 中級修了者の会	34
V	国際交流	35
1	米国立盆栽・盆景園との姉妹館交流事業	35
2	その他の交流	35
VI	調査研究及び社会貢献活動	35
1	執筆・寄稿・講師・出演	35
VII	資料	35
1	購入資料	35
2	収蔵資料利用	36
3	収蔵資料件数	36
4	図書寄贈者一覧	36
VIII	広報活動	38
1	ニュースレター「ジンシャリ」	38
2	公式 SNS の運用	38
3	ウェブサイトの運用	38
4	主な広報実績	38
IX	ミュージアムグッズ	39
X	入館者数等	40
1	入館者数	40
2	展覧会別入館者数（企画展・特別展）	40
3	外国人入館者数	41
4	施設利用	41
XI	条例・規則	41

I 概 要

1 設立の経緯

盆栽は、今日では日本が世界に誇るものとして、多くの人びとに親しまれている伝統文化である。大正12年（1923）の関東大震災を契機として誕生した、さいたま市北区内の「大宮盆栽村」は、日本屈指の盆栽園が集まる地域として、国内はもとより世界各国の盆栽愛好家の間でその名が知られている。

この貴重な地域資源である盆栽文化の振興・活用を図るため、さいたま市誕生以前の旧大宮市では、盆栽村地区及びその周辺一帯を文化・歴史・観光の拠点として整備する「盆栽公苑構想」を策定し、埼玉県との共同事業である「国際大宮盆栽会館（仮）」の整備を中心に、推進が図られた。平成13年にさいたま市となってからも、事業を継続し、埼玉県との共同事業によって、「盆栽公苑構想」の再構築を図り、平成17年3月、「さいたま市盆栽文化振興・活用基本構想」を策定した。

ここでは、盆栽文化の振興・活用を目的として、個性豊かな生活文化活動の推進、緑あふれるまちづくり、個性あふれる、愛着の持てるふるさとづくり、盆栽に関する産業の振興などを掲げた。また、盆栽文化の普及と活性化という振興戦略及び盆栽をテーマとした地域の活性化という活用戦略を設定し、その実現に向けた連携の仕組みとして、盆栽文化ネットワークを構築することとした。

このような視点のもと、平成18年度にさいたま市盆栽関連施設等基本計画を策定、平成19年度に旧高木コレクションの盆栽100点を含む資料523点を一括して購入した。大宮盆栽美術館は、こうした資料の調査研究、情報発信等を行うための拠点施設として整備されることになり、平成20年（2008）10月着工、平成22年（2010）3月28日、総合的な盆栽文化を発信する世界で初めての公立の「盆栽美術館」として開館した。

2 方 針

盆栽を中心として、盆器、水石、絵画資料、歴史・民俗資料などの紹介により、さいたま市の伝統産業にも指定されている盆栽の文化を、ひろく内外に発信することを目的に活動する。

活動の柱として、以下の3つの方針を掲げる。

1 盆栽に関わる研究センター

盆栽の歴史や意義を、多様な観点から研究してわかりやすく公開し、講座、講演会などの普及事業を開催する。

2 さいたま市の新しい観光拠点

盆栽のすばらしさに気軽に触れられる、さいたま市の新たな観光拠点を目指す。

3 盆栽産業活性化の一助

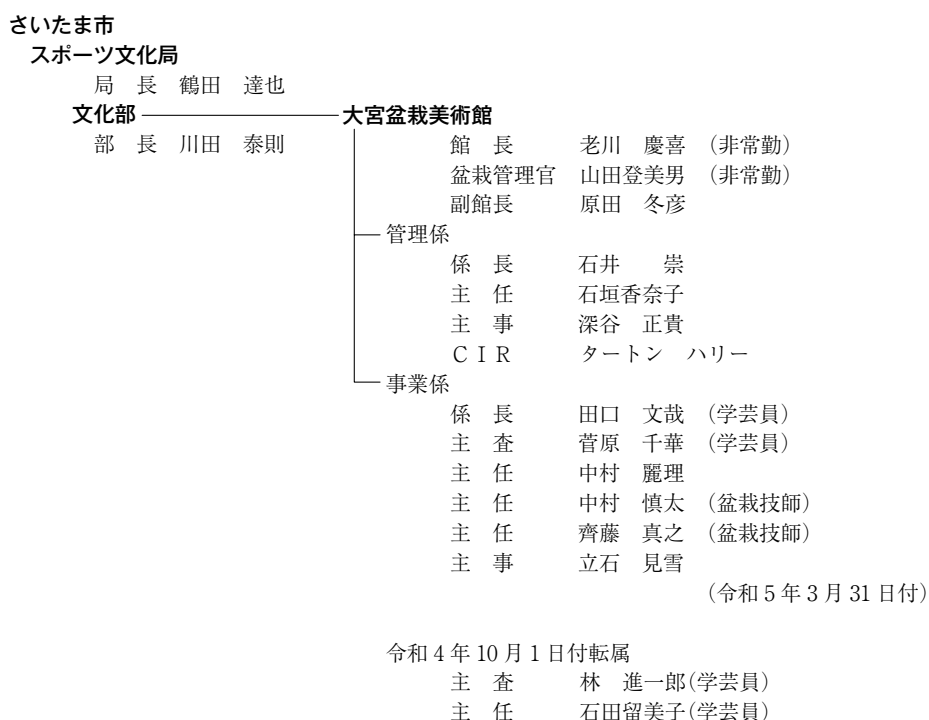
多くの方が盆栽に親しむきっかけをつくることで、伝統産業の活性化をはかる。

3 沿 革

平成18年(2006) 3月	文化芸術振興計画の策定（盆栽関連施設等事業を推進）
平成19年(2007) 3月	盆栽関連施設等整備基本計画の策定
平成19年(2007) 7月	埼玉県と盆栽関連施設に係る協定書の締結
平成19年(2007) 9月	埼玉県と土地無償賃貸契約の締結
平成20年(2008) 2月	旧高木コレクション（523点）購入
平成20年(2008) 4月	文化施設建設準備室設置
平成20年(2008) 10月	建設工事着工

平成21年(2009) 4月	大宮盆栽美術館開設準備委員会設置
平成21年(2009) 6月	さいたま市大宮盆栽美術館条例制定
平成21年(2009) 10月	文化施設建設準備室大宮盆栽美術館開設準備担当配置
平成22年(2010) 1月	大宮盆栽美術館竣工
平成22年(2010) 3月	さいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則制定
平成22年(2010) 3月	さいたま市大宮盆栽美術館開館
平成24年(2012) 1月	音声ガイド導入(同年4月から英語、中国語、韓国語を加えた4カ国語対応)
平成25年(2013) 4月	さいたま市大宮盆栽美術館ボランティア解説員設置
平成25年(2013) 7月	公式 Facebook 開設、運用
平成26年(2014) 4月	さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会規則施行・設置
平成27年(2015) 3月	英語版ページを拡充した改訂版公式ウェブサイト運用
平成27年(2015) 4月	さいたま市盆栽資料等選考評価委員会条例施行・設置
平成28年(2016) 2月	国際盆栽シンポジウム開催(2月11日、よみうり大手町ホール)
平成29年(2017) 3月	アカデミー実習場・培養場竣工
平成29年(2017) 3月	盆栽庭園垣根修繕、庭園南側植栽部撤去・懸崖台設置
平成29年(2017) 4月	第8回世界盆栽大会 in さいたま開催 サブ会場
平成29年(2017) 5月	さいたま国際盆栽アカデミー開講
平成29年(2017) 11月	累計来館者数 50 万人到達
平成29年(2017) 12月	公式 Instagram 開設、運用
平成30年(2018) 10月	無料英語ガイド「Welcome Monday」開始
平成31年(2019) 3月	盆栽庭園内ウッドデッキ設置
令和元年(2019) 8月	米国立盆栽・盆景園(米国農務省国立樹木園内)との姉妹館提携締結
令和2年(2020) 3月	中国語(簡・繁)及び韓国語版ページを拡充した改訂版公式ウェブサイト運用 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月2日から5月28日まで臨時休館
令和3年(2021) 3月	スマートフォンを利用したコレクションガイド「盆美eガイド」導入 撮影可能エリアを庭園全域及び企画展示室に拡大

4 組 織



5 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会

さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会規則に基づき、大宮盆栽美術館の適正な運営をはかるため、基本的な運営事項について審議し助言を得るために設置された。

(1) さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会名簿（8名）

	氏名	備考
委員長	小島孝夫	成城大学 文芸学部 教授
副委員長	大和田昌宏	(公社)さいたま観光国際協会 観光事業課長
委員	池田伸子	埼玉県立歴史と民俗の博物館 学芸主幹
委員	砂生敏一	(株)埼玉新聞社 編集局長
委員	島田守	埼玉県産業労働部 観光課長
委員	杉山史則	東日本旅客鉄道(株) 大宮支社 営業部長
委員	高嶋修一	青山学院大学 経済学部 教授
委員	谷中智恵子	ほんさい遊々 監事 (盆栽普及活動家)

(令和5年2月28日現在)

※委員以下五十音順

(2) 開催状況

	期日	場所
第1回	令和4年8月10日(水)	大宮盆栽美術館講座室
第2回	令和5年1月24日(火)	大宮盆栽美術館講座室

6 さいたま市盆栽資料等選考評価委員会

さいたま市盆栽資料等選考評価委員会条例に基づき、盆栽資料等の収集を適正に行うため、さいたま市の諮問に応じ、資料の選考及び評価を行うために設置された。

(1) さいたま市盆栽資料等選考評価委員会（4名）

	氏名	備考
委員長	平野恵	台東区立中央図書館 郷土・資料調査室 専門員
委員	池田伸子	埼玉県立歴史と民俗の博物館 学芸主幹
委員	今井昭一	日本盆栽協同組合 理事長
委員	須藤雨伯	景道二世家元

任期 令和5年2月17日から令和7年2月16日まで

(令和5年3月31日付)

※委員以下五十音順

(2) 開催状況

	期日	場所
第1回	令和5年2月17日(金)	大宮盆栽美術館講座室

平成 22 年 1 月

7 施 設

設 計 高橋設計株式会社

建設工事

(1) 建物概要

所在地 さいたま市北区土呂町
2丁目24番地3

敷地面積 6,335.07 m²

延床面積 1,497.58 m²

構 造 鉄筋コンクリート造
(地下1階、地上2階)

建築・外構工事 佐伯・スミダ建設特定
共同企業体

機械設備工事 富士管工株式会社

電気設備工事 旭電気工業株式会社

展示設計・製作 株式会社丹青社

(2) 主要施設

1階：ロビー、ミュージアムショップ、映像
コーナー、コレクションギャラリー、企
画展示室、盆栽庭園、盆栽工房、事務室、
応接室

2階：講座室、盆栽テラス

地階：収蔵庫

(4) 収蔵庫概要

面 積：収蔵庫 1 183.12 m²
収蔵庫 2 43.15 m²

空 調：

収蔵庫 1 自然循環型、独立型除湿機設置

収蔵庫 2 フィルターを通して循環
除湿および加湿機を設置

* 室内に温湿度記録計を設置

温湿度設定 20℃ ± 5、55% ± 5

警備設備：カード感知式および鍵式施錠

火災報知：自動火災報知設備

消火設備：収蔵庫 1 ABC 粉末消火器

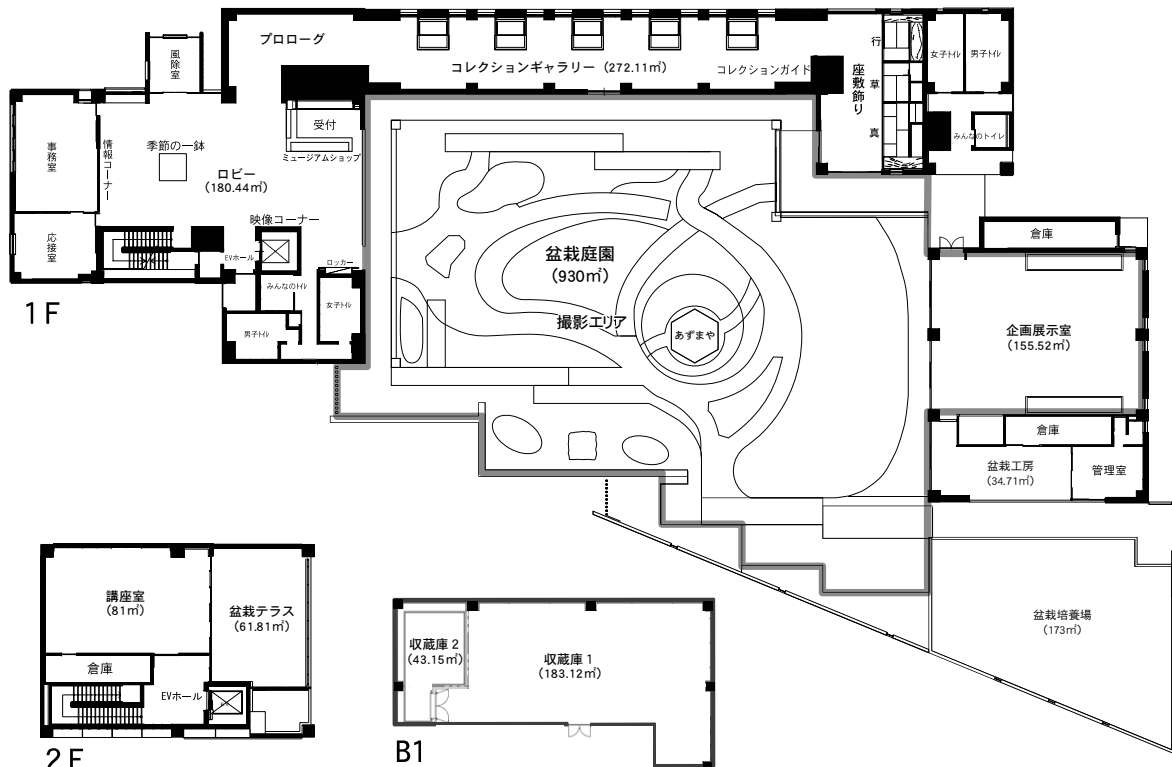
収蔵庫 2 ハロン化物消火設備(1)

(3) 整備事業費

建設費 1,034,050,500 円

展示設計・展示製作 90,078,450 円

工 期 平成 20 年 10 月～



8 展示室

(1) コレクションギャラリー

当館のコレクションギャラリーは、プロローグ、ギャラリー、座敷飾りという、三つの空間で構成されており、主に通常展示を行う展示空間となっている。

プロローグでは、壁面パネルによって所蔵する盆栽をはじめ、盆器、水石、絵画、歴史・民俗資料を紹介し、続いて「盆栽を見るために」として、盆栽の鑑賞方法の基本を解説している。



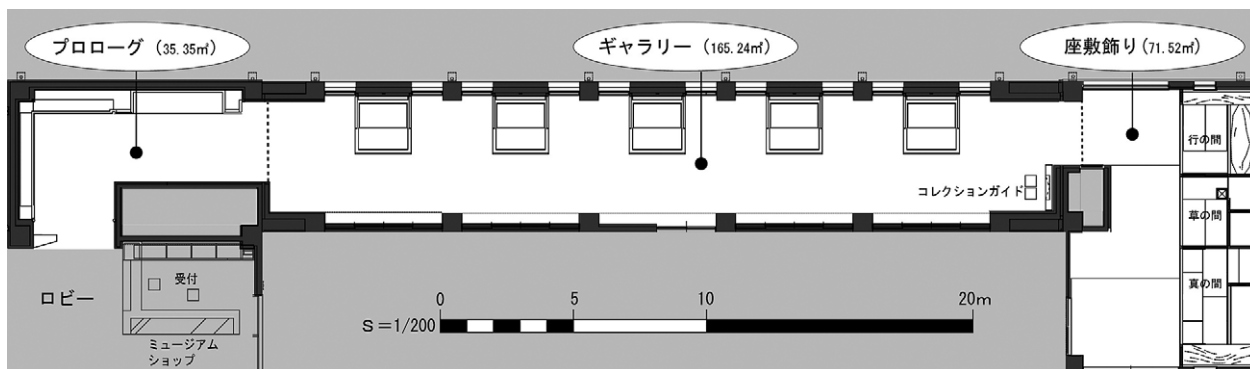
プロローグ



ギャラリー（プロローグ側より）

ギャラリーは、廊下状の空間に5台の専用展示台を設置し、盆栽用の室内展示空間としている。また、このギャラリーにはコレクションガイドが設置されている。

座敷飾りは、土間から一段高く作った、和室風の展示空間である。三つの座敷を横に並べた構造をとっており、それぞれ建材等を変えることで、真、行、草の様式の変化が判る構造としている。



コレクションギャラリー平面図

(2) 企画展示室

企画展示室は、盆栽以外の資料等による展示会場となる。

面積：155.52㎡

天井高：3.7m

設備：

壁付きケース（エアタイト式） 1基

壁付きケース（自然循環式） 1基

のぞき型可動式ケース（エアタイト式） 4台

外寸 D. 900 × W. 1800 × H. 1050 mm

行灯型可動式ケース（自然循環式） 3台

外寸 D. 900 × W. 900 × H. 2050 mm

可動壁 H. 3350 × W. 1250 mm 32枚

空調：

ロスナイ換気あるいは自然循環(24時間空調)

独立型除湿機設置、ケース内に調湿剤を併用

*室内およびケース内に温湿度記録計を設置

温湿度設定 20℃ ± 5、55% ± 5

警備設備：

開館時 警備員による巡視、監視カメラ設置

閉館時 機械警備（赤外線検知式）

火災報知：自動火災報知設備

消火設備：ABC 粉末消火器

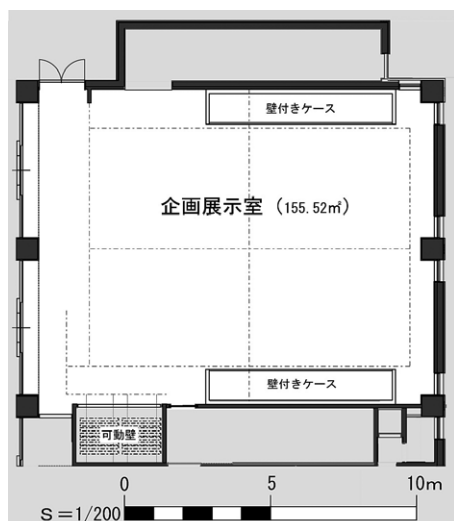
照明設備：照明器具

・LEDスポットライト（調光不可） 10台

・ハロゲンスポットライト（調光不可） 30台

・蛍光灯（UVカットタイプ・調光可） 8基

直射日光：外光遮断幕とUVカットフィルムを併用



企画展示室平面図

(3) 盆栽庭園

盆栽庭園は、日本庭園の様式を取り入れた回遊式の常設展示場である。

庭園の展示台基礎部には、小松石や根府川石を使用し、重厚で落ち着いた雰囲気を与えている。

庭園南側に設置した五葉松「千代の松」専用の展示台は回転台を内蔵しており、同盆栽の生育に配慮している。

なお、夏季の日射を抑制するため、庭園東側及び南側一帯には寒冷紗を設置できる。

【沿革】

平成24年7月

庭園中央部に池を造成。

平成29年3月

設備の老朽化及び展示スペースの拡大のため、庭園東側に設定していた撮影エリアと庭園境界部の垣根及び撮影エリアの結界を新調。また、庭園中央から南側の植栽を撤去し、固定式懸崖台及び可動式展示台を設置。展示点数50点から60点に拡大。

平成30年2月

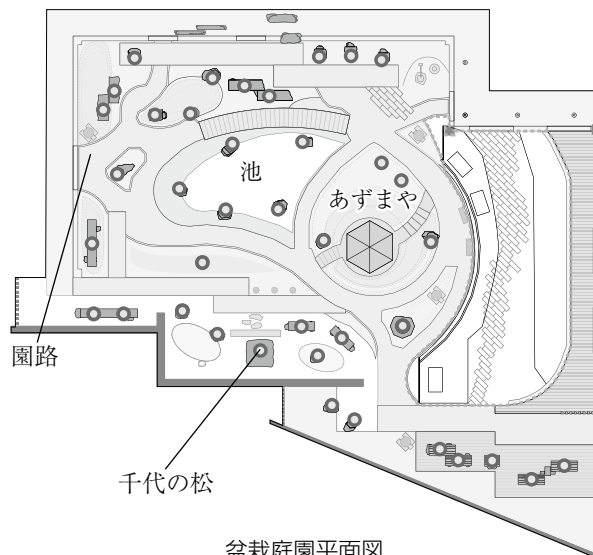
撮影エリアを南側のデッキ部分まで拡大。

平成31年3月

庭園北側のつくばい部を整備し、ウッドデッキを新設。同ウッドデッキ及びあずまや内を撮影エリアとする。

令和3年3月

撮影エリアを庭園全域に拡大。



盆栽庭園平面図



盆栽庭園

9 さいたま国際盆栽アカデミー 実習場・培養場

さいたま国際盆栽アカデミーの教材の培養管理をする場所であり、一部の実技講座の際は、実際に作業をする場所として活用している。

森鷗外の息子である森於菟の旧邸があった土地であり、豊かな自然が、かつての別荘地の面影を残している。

所在地：さいたま市北区盆栽町 322 番地 2

敷地面積：1281.98 m²

竣工：平成 29 年 3 月



盆栽アカデミー実習場・培養場

10 コレクションガイド (館内検索システム)

当館の所蔵品である、盆栽および盆栽関連資料の情報や写真をアーカイブしている収蔵品データベースのうち、公開項目として登録した情報に一般来館者がアクセスできる端末（コレクションガ

イド）を設置している。

設置場所、台数

コレクションギャラリー、1 台

操作方法

タッチパネル式になっており、画面に表示されたボタン等のアイコンや写真等を指で触れてページの進行および後退、あるいは拡大縮小等进行操作する。

表示コンテンツ概要および内容細目

- 1 コレクション選択場面
 - 盆栽／盆栽以外の資料を選択
- 2 盆栽
 - 2-1 五葉松
 - 2-2 松、真柏等
 - 2-3 雑木の四季
- 3 盆栽以外の資料
 - 3-1 盆器
 - 3-2 卓
 - 3-3 水石
 - 3-4 絵画資料
 - 3-5 歴史・民俗資料

コレクションガイドに表示されるコンテンツは、当館の収蔵品データベースとリンクしている。収蔵品データベースのうち、公開情報として登録した資料および情報、写真がコレクションガイドから閲覧可能となる。

※令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、使用中止。



コレクションガイド

11 映像コーナー

盆栽文化への導入部として、無料空間であるロビーで以下の3本の映像を繰り返し放映している。3面マルチ大型画面の迫力と、簡単な英語を付しており、外国人にも人気が高いコーナーである。

- 1) 「盆栽 樹木と人の小宇宙」 2分9秒
- 2) 「盆栽の美 四季のうつろい」 2分2秒
- 3) 「歴史編」 3分14秒



映像コーナー

12 情報コーナー

ロビー内に観光情報を案内するコーナーとして設置した。埼玉県とさいたま市の主な観光施設を地図パネルとし、また観光パンフレットを置き、来館者が手軽に観光情報を知ることができるスペースである。

また、インフォメーションガイドとして、「大宮盆栽美術館からのお知らせ」、「盆栽関連のお知らせ」、「盆栽園情報」、「さいたま市イベント情報」をロビーに設けられた2台のディスプレイに掲示している。表示項目はイベント名、開催期間、開催場所、案内文（180字以内）と、画像である。



情報コーナー

13 音声ガイド

平成24年1月より音声ガイドを導入した。ガイド端末をレンタルする形式をとり、キー入力でナレーターの吹き込んだ解説を聴くことができる。内容としては、館で所蔵する盆栽それぞれの見どころや来歴に加え、館の施設案内や盆栽村の歴史についても含んでいる。

また平成24年4月より、英語、中国語、韓国語の音声データを追加し、海外からの来館者にも対応した。端末のレンタル料は310円。

※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、貸し出し休止。



ガイド端末

14 ウェブサイト

施設案内、コレクション、盆栽についてなどの基本情報を掲載しているページについては、日本語、英語（以上、開設時から）、中国語（簡体字、繁体字）、韓国・朝鮮語（以上、令和2年3月から）の4言語5通りからなるウェブサイトとしている。

令和5年3月には一部の改修を行い、トップページに各種ページとリンクした「イベントカレンダー」ページを追加して閲覧の利便性を向上させ、ニュースレター「ジンシャリ」（45号）の大幅改定に合わせて、ウェブ版「ジンシャリ」ページを追加し、デジタル化の向上を図った。

サイトマップ

- トップページ
 - ニュース
 - 展覧会
 - ワークショップ／イベント
 - お知らせ
 - ジンシャリ ※改訂
 - 休館日カレンダー
 - イベントカレンダー ※新規
- 施設のご案内
- ごあいさつ

—館全体図・館内のご案内・サービス
コレクション

- 盆栽
- 盆器
- 水石
- 卓
- 絵画資料等
- 歴史・民俗資料

盆栽について

- 盆栽の見方
- 樹種と形態
- 盆栽の技
- 大宮盆栽村について

さいたま国際盆栽アカデミー

- 目的・カリキュラム
- 修了者の活動紹介
- 新着情報

国際交流

- 盆栽関連施設・機関との提携
- 関連事業
- 多言語対応
- データで見る国際交流

アクセス・ご利用案内

リンク

お問い合わせ

15 盆美eガイド

来館者の多くが所有するスマートフォンにより、展示品の解説を閲覧、視聴することのできるコレクションガイド「盆美eガイド」を導入した。

本ガイドに掲載される情報は、当館ホームページの収蔵品紹介ページ「コレクション」に紐づけられており、スマートフォンのブラウザ用に設計された専用ページにおいて、各コレクション情報（資料の情報及び写真）を閲覧できるものである。

また、従来から導入していた有料貸出形式のガイド端末「音声ガイド」に内蔵されていた各コレクションの音声解説データを搭載しており、資料情報の閲覧のみではなく、音声解説を聴取することもできる（資料番号 A-001～A-107 の盆栽のみ）。

使用に際して、利用者は「盆美eガイド」に接続後、館内掲示の資料キャプションに記載された資料番号（アルファベット1文字+資料番号3桁）を

入力するだけで資料情報を閲覧することができる。

このような簡易的な操作方法とともに、特別なアプリケーションを必要としないことから、利用者の負担を軽減することが可能であり、運用上においては「コレクション」の更新内容が同期されるため、更新作業の合理化も図られている。

運用開始日

令和3年3月12日（金）

対応 OS

iOS 及び Android

対応言語

日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国・朝鮮語

利用方法

- ・館内に掲示したQRコード又はURLから「盆美eガイド」に接続する。

URL：https://www.bonsai-art-museum.jp/ja/eguide/

- ・館内掲示の資料キャプションに記載された資料番号を入力する。

利用について

- ・ロビー、ギャラリー、座敷飾りで音声データを聞く場合は、イヤホンの利用を必須とする。



検索画面



資料画面の一例

Ⅱ 展覧会事業

1 通常展

当館の通常展（※令和2年度まで「常設展示」と称したが、展示の実状を反映して「通常展」と呼び変えた。）は、屋内のコレクションギャラリー及び屋外の盆栽庭園における盆栽を主とした展示、並びに企画展示室における盆栽の歴史・文化に関するパネル展示により構成されている。

昨年度から、ギャラリー及び庭園における盆栽の展示を「【季節の展示】盆栽展〈四季〉」と称し、企画展示室における盆栽の歴史・文化に関する展示を「【歴史と文化】盆栽クロニクル－年代記－」と呼び、それぞれ通常展として開催した。

(1) 【季節の展示】盆栽展〈四季〉

コレクションギャラリーには、5台の専用ステージを設置し、続く座敷飾りの3室、また、ロビーの「季節の一鉢」を合わせ、全9席の盆栽等を常時展示し、盆栽については育成面を考慮して1週間ごとに展示替えを実施している。

盆栽庭園では、常時約60点の盆栽を展示しており、見ごろの季節や育成上の観点から、随時盆栽を移動している。

本展示では、四季折々に美しい姿へと変化する盆栽の魅力を多くの来館者に伝えるため、以下のようにひと月ごとに小テーマを設定して季節感を打ち出し、それぞれの時季に見ごろを迎える盆栽を選んで展示することで、「生きる芸術」と呼ばれる盆栽ならではの見どころを紹介した。

4月	芽吹き季節	10月	爽秋の風
5月	新緑の誘い	11月	深まる色
6月	枝先のしずく	12月	寒樹の美
7月	こぼれる陽光	1月	緑を寿ぐ
8月	緑陰の涼	2月	凜と咲く
9月	秋空を背に	3月	花告げる春

令和4年度の開催期間は37週に及ぶことから、季節感を重視した当館所蔵品をはじめ、大宮盆栽村の各盆栽園が所蔵する見ごろを迎える盆栽の借用や、未公開作品の展示、多彩な掛幅との取り合わせによる席飾りの趣向に工夫を凝らし、毎週新たな設えで来館者を迎えられるよう展示内容の充実に努めた。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として増設したキャプション配置箇所について、インバウンド来館者の利便性を考慮し、英語キャプションの常設配置箇所として運用することとした。

出品作品一覧（ギャラリー・座敷飾り）

週	期 間	季節の一鉢	ギャラリー-1	ギャラリー-2	ギャラリー-3	ギャラリー-4	ギャラリー-5	真の間	行の間	草の間
1	4月1日(金) 4月6日(水)	A-112 姫りんご D-041 中透中卓	もみじ(獅子頭) 芙蓉園	B-267 鉦打太鼓胴丸鉢 D-067 榊算木長方卓	宮様楓 九霞園	C-061 瀬田川石 「武蔵野」 19-179 紫檀平卓	A-076 山もみじ D-073 紫檀中卓 添え ツクシカラマツ	A-089 杉 D-060 紫檀大平卓 E-076 秋吉則州「萬里一条鉄」 脇床 チョウジュハイ	A-045 もみじ(獅子頭) D-061 花梨幕板付中卓 E-049 作者不詳「柳に燕」	丹頂草 D-007 紫檀平卓
2	4月8日(金) 4月13日(水)	小真弓 D-065 正方高卓	藤添え セキショウ 藤樹園 D-001 紫檀飾付輪花高卓	B-002 青磁唐草文輪花鉢 D-039 真塗二段卓	ズミ 藤樹園	C-008 瀬田川石 「春暁」 D-041 中透中卓	檜 19-179 紫檀平卓 添え セクレイ	A-020 黒松「岩松庵」 D-061 花梨幕板付中卓 E-033 今尾景年「騰月」 脇床 チョウジュハイと タツナミソウの寄せ植え	A-122 いわしで D-055 紫檀算木卓 E-083 秋吉則州「松樹千年翠」	山もみじ D-082 紫檀中棧 入六角高卓
3	4月15日(金) 4月20日(水)	小檜 D-001 紫檀飾付輪花高卓	もみじ(出狸々) 芙蓉園	B-002 青磁唐草文輪花鉢 D-059 真塗二段卓	A-048 榊 D-055 紫檀算木卓	C-008 瀬田川石 「春暁」 D-041 中透中卓	A-127 檜 19-177 紫檀平卓	A-007 真柏「寿雲」 D-052 紫檀喉付中卓 脇床 C-010 多摩川石 「晚鐘」	いわしで 藤樹園 E-097 作者不詳「日は好日」 付書院 フウチソウ	真弓 D-065 正方高卓
4	4月22日(金) 4月27日(水)	定家かずら D-057 黒檀天然彫高卓	白山山査子 添え エキノシタ 芙蓉園	B-158.159 染付牡丹唐草文丸鉢 19-173 喉付藤文机卓	A-036 五葉松 19-177 紫檀平卓	C-067 古谷石 D-070 紫檀長方天拝卓	A-121 日本鎌柄 D-056 紫檀輪花型高卓	A-069 黒松 D-012 天然彫高卓 E-083 秋吉則州「松樹千年翠」 脇床 フイリフウチソウ とシランの寄せ植え D-081 紫檀地板付書院 C-026 加茂川石	A-086 いちよう D-027 花梨中卓 E-080 秋吉則州「無事貴人」	アブラチャン 九霞園
5	4月29日(金祝) 5月4日(水祝)	ヤマボウシ 芙蓉園	斑入り定家かずら D-057 黒檀天然彫高卓	B-158.159 染付牡丹唐草文丸鉢 19-173 喉付藤文机卓	A-124 真柏 D-073 紫檀中卓 添え セキショウ	C-067 古谷石 D-070 紫檀長方天拝卓	小葉の鹽菜 19-179 紫檀平卓	A-024 真柏 D-061 花梨幕板付中卓 脇床 ヒメシヤガ 付書院 C-024 花治川石「肅山」	岩がらみ D-058 紫檀天然彫高卓 E-075 福本積徳「蕪風自南來」	羽根扇楓 D-033 斑竹網代平卓

6	5月5日(木祝) 5月11日(水)	エゴノキ 芙蓉園	山もみじ D-082 紫檀中 棧入六角高卓 添え シロバナ タツナミソウ	B-158.159 染付 牡丹唐草文丸鉢 19-173 喉付蕨文机卓	A-130 五葉松 長板 D-004 紫檀竹節平卓	C-067 古谷石 D-070 紫檀長方天拝卓	定家かずら D-057 黒檀天然彫高卓	A-058 五葉松「輝」 D-052 紫檀喉付中卓 脇床 D-083 花梨地板	A-047 もみじ(出猩々) D-020 花梨竹節机卓 E-097 作者不詳「日是好日」	ヤマコウバシほか 寄せ植え D-033 斑竹網代平卓
7	5月13日(金) 5月18日(水)	「世界盆栽の 日」記念 さつき盆栽 特別展示 さつき (明日香) 一般社団法人 日本盆栽協 会	A-061 五葉松 B-317 斑紫銅 出透文楕円水盤 D-021 斑竹天 花梨透付卓	B-166 瑠璃袖唐獅子 牡丹石台 D-059 真塗二段卓	A-074 山もみじ D-055 紫檀算木卓	C-063 加茂川石 D-054 紫檀幕板付机卓	岩がらみ 門倉寄贈卓 (木瓜形)	A-068 黒松 D-061 花梨幕板付机卓 E-076 秋吉則州「萬里一条鉄」 脇床 アワモリショウマ	A-049 いわしで D-044 紫檀喉付机卓 E-075 福本積應「薫風自南来」	小葉の髄菜 D-026 天然彫地板
8	5月20日(金) 5月25日(水)	風知草 D-017 斑竹 天玉空丸卓	岩がらみ D-057 黒檀天然彫高卓	B-166 瑠璃袖唐獅子 牡丹石台 D-059 真塗二段卓	A-064 黒松 D-054 紫檀幕板付机卓	C-063 加茂川石 D-027 花梨中卓	小葉の髄菜 D-070 紫檀長方天拝卓	A-019 五葉松「双鶴」 D-004 紫檀竹節平卓 付書院 C-024 佐治川石「肅山」 脇床 フウチソウ	A-046 山もみじ D-044 紫檀喉付机卓 E-080 秋吉則州「無事は貴人」	赤花升麻 19-179 紫檀平卓 C-059 佐治川石
特別展示 さつき盆栽の展示 ※さつき盆栽は磯部緑園所蔵。										
—	5月27日(金) 6月1日(水)	さつき (松波)	さつき(玉織姫) 添え ツクシカ ラマツ	さつき(若恵比須) 添え アサギリ ソウ	さつき(寿光) 添え C-040 好間川石	さつき(大盃)	さつき (一生の春) 添え セキショウ	さつき(紅牡丹) 脇床 フウチソウ E-075 福本積應「薫風自南来」	さつき(寿光) 添え C-058 八瀬真立真黒石 E-096 関牧翁「今日無事」	さつき(紺桔梗)
—	6月3日(金) 6月5日(日)	さつき (寿光)	さつき (一生の春) 添え ホタルツ ワフキ	さつき (紫竜の舞)	さつき(紺桔梗) 添え 斑入りセ キショウほか寄 せ植え	さつき(寿光) 添え C-040 好間川石	さつき (若恵比須) 添え 斑入りギ ボウシ	さつき(紅牡丹) 脇床 フウチソウ E-075 福本積應「薫風自南来」	さつき(松波) 付書院 C-058 八瀬真立真黒石 E-096 関牧翁「今日無事」	さつき(真山) 床脇 アメリカ葛
9	6月10日(金) 6月15日(水)	花菖蒲 19-175 花梨平巻卓	A-076 山もみじ D-073 紫檀中卓 添え ナチア ワモリショウマ	B-192 白染牡丹 唐草文丸鉢 D-059 真塗二段卓	A-025 真柏 門倉寄贈卓 (木瓜形)	C-012 加茂川石 B-243 染付松竹 梅園長方水盤 D-027 花梨中卓	屋久島萩ほか寄 せ植え D-074 紫檀猫足中卓	A-028 津山檜 D-061 花梨幕板付中卓 E-039 猪野問作「山水図」 脇床 舟 ノバラ	A-095 もみじ(獅子頭) D-067 榊算木長方卓 E-043 良雄「川輝園」 付書院 ノバラ	アメリカ葛 D-075 紫檀高卓
10	6月17日(金) 6月22日(水)	風知草 D-017 斑竹 天玉空丸卓	A-077 山もみじ D-018 紫檀算木机卓 添え ツクシカ ラマツ	B-192 白染牡丹 唐草文丸鉢 D-059 真塗二段卓	黒松(捌幹) D-006 玉空天然彫 添え C-059 佐治川石	C-012 加茂川石 B-243 染付松竹 梅園長方水盤 D-027 花梨中卓	檜 19-179 平卓	A-089 杉 D-048 紫檀大平卓 E-076 秋吉則州「萬里一条鉄」 脇床 ハゼ	C-005 群峰競秀石 D-035 喉付平卓 E-047 作者不詳「漁楽園」	屋久島萩ほか寄 せ植え D-082 紫檀中棧 入六角高卓
11	6月24日(金) 6月29日(水)	風知草 D-017 斑竹 天玉空丸卓	ブーゲンビレア 添え ツメレンゲ 芙蓉園	C-002 鞍馬糸掛石 B-298 蕎麦袖楕円水盤 D-041 中透中卓	A-090 五葉松 19-177 紫檀平卓 長板	B-004 青磁刻花 芙蓉唐草文長方鉢 D-054 紫檀幕板付机卓	夏藤 D-075 紫檀高卓 添え C-059 佐治川石	A-026 真柏 D-048 紫檀大平卓 脇床 C-033 加茂川石「龍淵」 付書院 ベニフウチソウ	C-005 群峰競秀石 D-035 喉付平卓 E-047 作者不詳「漁楽園」	羽団扇楓 D-033 斑竹網代平卓
12	7月1日(金) 7月6日(水)	小楠 D-080 紫檀 斑竹貼正 方高卓	長寿梅 添え ダイモン ジソウとイグサ 藤樹園	C-002 鞍馬糸掛石 B-298 蕎麦袖楕円水盤 D-041 中透中卓	A-069 黒松 D-012 天然彫高卓	B-004 青磁刻花 芙蓉唐草文長方鉢 D-054 紫檀幕板付机卓	C-054 貴船石 B-299 蕎麦袖楕円水盤 19-179 紫檀平卓 添え ヤダケ E-045 三輪髯勢「蛭園」	A-007 真柏「寿雲」 D-052 紫檀喉付中卓 脇床 C-010 多摩川石「晩鐘」	C-046 伊予石 B-317 斑紫銅出透文楕円水盤 D-021 斑竹天花梨透付卓 E-070 孤峰智楽「行倒水窮処」	ぶな 地板
13	7月8日(金) 7月13日(水)	山香ばし 門倉寄贈卓 (木瓜形)	A-129 山もみじ (青枝垂れ) D-018 紫檀算木机卓	C-002 鞍馬糸掛石 B-298 蕎麦袖楕円水盤 D-041 中透中卓	A-127 檜 19-177 紫檀平卓	B-004 青磁刻花 芙蓉唐草文長方鉢 D-054 紫檀幕板付机卓	C-054 貴船石 B-299 蕎麦袖楕円水盤 19-179 紫檀平卓 添え ショタイ ソウ	A-024 真柏 D-061 花梨幕板付中卓 E-082 秋吉則州「青山緑水」 脇床 ベニフウチソウ	C-046 伊予石 B-317 斑紫銅出透文楕円水盤 D-021 斑竹天花梨透付卓 E-070 孤峰智楽「行倒水窮処」	紫式部ほか 寄せ植え D-034 花梨甲玉透中卓
14	7月15日(金) 7月20日(水)	夏藤 D-075 紫檀高卓	A-124 真柏 D-073 紫檀中卓 添え ヤブコウジ	C-032 佐治川石「樹海」 D-070 紫檀長方天拝卓	A-047 もみじ (出猩々) D-020 花梨竹節机卓	B-004 青磁刻花 芙蓉唐草文長方鉢 D-054 紫檀幕板付机卓	水木賊 B-298 蕎麦袖楕円水盤 D-022 斑竹天 花梨算木中卓 C-059 佐治川石	C-069 古谷石 D-049 紫檀輪飾付机卓 E-033 今尾景年「龍月」 脇床 ベニフウチソウ	A-008 赤松「帰去来」 D-004 紫檀竹節平卓 E-074 宙寶宗宇「知足」 付書院 C-024 佐治川石「肅山」	アメリカ葛 D-072 天標斑竹丸高卓
15	8月19日(金) 8月24日(水)	小楠 D-080 紫檀 斑竹貼正 方高卓	A-050 初雪かずら D-041 中透中卓	C-007 紫貴船石 B-298 蕎麦袖楕円水盤 19-179 平卓	A-061 五葉松 B-317 斑紫銅 出透文楕円水盤 D-021 斑竹天花梨透付卓	B-155 染付龍宝珠文丸鉢 D-070 紫檀長方天拝卓	山もみじ D-065 正方高卓 添え ホソバノ ギク	A-022 真柏「北斎」 D-061 花梨幕板付中卓 脇床 キボウシ 付書院 C-030 加茂川石「蜀山道」	C-044 好間川石 D-004 紫檀竹節平卓 E-070 孤峰智楽「行倒水窮処」 付書院 ショタイソウ	紅葉 D-026 紫檀天然彫 添え 舟
16	8月26日(金) 8月31日(水)	金水引ほか 寄せ植え D-081 紫檀地板	小真弓 D-065 正方高卓	C-007 紫貴船石 B-298 蕎麦袖楕円水盤 19-179 平卓	A-064 黒松 D-054 紫檀幕板付机卓	B-155 染付龍宝珠文丸鉢 D-070 紫檀長方天拝卓	羽団扇楓 D-040 紫檀平卓	A-028 津山檜 D-061 花梨幕板付中卓 脇床 ハゼ寄せ植え	C-044 好間川石 D-004 紫檀竹節平卓 E-070 孤峰智楽「行倒水窮処」 付書院 ベニフウチソウ	白花ハクラタテ D-014 紫檀細工古鏡型中卓 添え 秋虫
17	9月2日(金) 9月7日(水)	盗人萩ほか 寄せ植え D-081 紫檀地板	A-074 山もみじ D-055 紫檀算木卓	C-007 紫貴船石 B-298 蕎麦袖楕円水盤 19-179 平卓	A-126 真柏 D-001 紫檀飾付輪花高卓 添え ヤブコウジ	B-155 染付龍宝珠文丸鉢 D-070 紫檀長方天拝卓	真弓 D-065 正方高卓 添え セキショウ	A-068 黒松 D-061 花梨幕板付机卓 E-076 秋吉則州「萬里一条鉄」 脇床 チョウジュバイ	C-044 好間川石 D-004 紫檀竹節平卓 E-070 孤峰智楽「行倒水窮処」 付書院 イトスキ	水引ほか寄せ植え 19-175 花梨平巻卓
18	9月23日(金祝) 9月28日(水)	藤袴 19-175 花梨平巻卓	A-076 山もみじ D-073 紫檀中卓 添え ホタルツ ワフキ	C-013 多摩川石「金剛」 19-173 喉付蕨文机卓	A-130 五葉松 D-004 紫檀竹節平卓 長板	B-137 白泥葡萄園長方鉢 19-179 平卓	西洋鎌柄 19-177 紫檀平卓	A-026 真柏 D-048 紫檀大平卓 脇床 C-033 加茂川石「龍淵」 付書院 チョウジュバイ	A-048 檜 D-055 紫檀算木卓 E-121 岡本秋暉「秋草明月図」	真弓 D-065 正方高卓
19	9月30日(金) 10月5日(水)	小楠 D-080 紫檀 斑竹貼正 方高卓	A-095 もみじ (獅子頭) D-044 紫檀喉付机卓	C-013 多摩川石「金剛」 19-173 喉付蕨文机卓	黒松(捌幹) D-006 玉空天然彫 添え C-059 佐治川石	B-137 白泥葡萄園長方鉢 19-179 平卓	檜 D-059 真塗二段卓 添え 秋虫	A-007 真柏「寿雲」 D-052 紫檀喉付中卓 脇床 C-010 多摩川石「晩鐘」	A-047 もみじ(出猩々) D-020 花梨竹節机卓 E-097 作者不詳「日是好日」	山香ばしほか寄せ 植え 19-175 花梨平巻卓
20	10月7日(金) 10月12日(水)	風知草 D-017 斑竹 天玉空丸卓	A-077 山もみじ D-018 紫檀算木机卓	C-013 多摩川石「金剛」 19-173 喉付蕨文机卓	A-127 檜 19-177 紫檀平卓	B-137 白泥葡萄園長方鉢 19-179 平卓	小真弓 D-065 正方高卓	A-017 五葉松「うす潮」 D-051 調山写天拝卓 E-119 狩野榮信「雲龍図」 脇床 ハゼ	A-046 山もみじ D-044 紫檀喉付机卓 E-080 秋吉則州「無事は貴人」	藤袴 D-081 紫檀地板

21	11月11日(金) 11月16日(水)	ガマズミ 清香園	A-077 山もみじ D-018 紫檀算木机卓	B-202.203 色絵金襴手武者 図丸鉢 19-177 紫檀平卓	A-064 黒松 D-054 紫檀幕板付机卓	C-031 好間川石「蒼調」 D-062 斑竹天紫檀中卓	山香ばし寄せ植え D-007 紫檀平卓 C-038 安倍川石	A-024 真柏 D-061 花梨幕板付中卓 E-096 関牧翁「今日無事」 脇床 リンドウほか寄せ 植え	A-121 日本鎌柄 D-056 紫檀輪花型高卓 E-079 秋吉則州 「時 桃栗三年柿八年」 添え C-058 八瀬築立真黒茅舎石	真弓 D-065 正方高卓
22	11月18日(金) 11月23日(水祝)	宮様楓 九霞園 19-175 花梨平巻卓	A-076 山もみじ D-055 紫檀算木卓 添え セキショウ ウ	B-202.203 色絵金襴手武者 図丸鉢 19-177 紫檀平卓	A-025 真柏 門倉寄贈卓 (木瓜形)	C-031 好間川石「蒼調」 D-062 斑竹天紫檀中卓	西洋鎌柄 19-177 紫檀平卓	A-014 唐楓「早春の譜」 D-020 花梨竹節机卓 E-054 戸上明道「かりの図」	山もみじ根上がり D-082 紫檀中棧入六角高卓 添え イトスキ	A-028 津山ひのき D-061 花梨幕付中卓 E-097 作者不詳 「日日是好日」 C-009 瀬田川石
23	12月16日(金) 12月21日(水)	五葉松 藤樹園	A-050 初雪かずら D-041 中透中卓	B-178 瀬田川石 E-062 酒井抱一「松雪」 D-027 花梨中卓	A-116 杜松 D-054 紫檀幕板付机卓	B-099 紫泥花鳥文長方鉢 19-177 紫檀平卓	真弓 D-065 正方高卓 添え セキショウ	A-022 真柏「北斎」 D-061 花梨幕板付中卓 付書院 C-030 加茂川石「蜀山道」	A-125 寒椿 D-044 紫檀喉付机卓 E-096 関牧翁「今日無事」	A-096 楓 D-040 紫檀平卓
24	12月23日(金) 12月28日(水)	雪柳 19-175 花梨平巻卓	くちなし 芙蓉園 添え スズメノ ヤリ、コガネシ ダ、ユキノシタ 寄せ植え 【令和5年1月4日 (水)】 A-095 もみじ (獅子頭) D-044 紫檀喉付机卓	B-178 瀬田川石 E-062 酒井抱一「松雪」 D-027 花梨中卓	A-130 五葉松 D-004 紫檀竹節平卓	B-099 紫泥花鳥文長方鉢 19-177 紫檀平卓	緋梅 D-065 正方高卓 添え セキショウ	A-089 杉 D-048 紫檀大平卓 E-076 秋吉則州「萬里一条鉄」 脇床 クマザサ、リンド ウ、チョウジュバイ 寄 せ植え	A-046 山もみじ D-044 紫檀喉付机卓 E-080 秋吉則州「無事は貴人」	椿「初雁」 D-026 天然影地板 【令和5年1月4日 (水)】 錦糸南天 D-028 仙果付天然影地板
25	令和5年 1月6日(金) 1月11日(水)	A-128 八重寒紅梅 D-018 紫檀 算木机卓	A-095 もみじ (獅子頭) D-044 紫檀喉付机卓	B-097 絵紫泥 花鳥文長方鉢 19-177 紫檀平卓	A-057 五葉松「静寂」 D-051 潤山写天拝卓	C-065 鞍馬石「宝船」 D-059 真塗二段卓	小真弓 D-065 正方高卓 添え ヤブコウジ	A-020 黒松 D-061 花梨幕板付中卓 E-096 小野竹齋「朝日」 脇床 チョウジュバイ	A-084 山椿 D-012 天然影高卓 E-087 月庵「三賢人」	錦糸南天 D-028 仙果付天然影地板
26	1月13日(金) 1月18日(水)	檜 九霞園	小葉の髓菜 19-179 紫檀平卓 添え マンネングサ	B-097 絵紫泥 花鳥文長方鉢 19-177 紫檀平卓	黒松 D-006 玉空天然影 添え C-059 佐治川石	C-065 鞍馬石「宝船」 D-059 真塗二段卓	椿(初雁) D-028 仙果付天然影地板	A-007 真柏「寿雲」 D-052 紫檀喉付中卓 脇床 クマザサ、チョウ ジュバイ 寄せ植え	A-081 緋梅 D-055 紫檀算木卓 E-098 西山観空「香潔」	雪柳 地板 E-064 作者不詳 「元禄美人糸繰り」
27	1月20日(金) 1月25日(水)	椿 (出雲大社) D-082 紫檀 中棧入六角 高卓	A-074 山もみじ D-055 紫檀算木卓	C-140 安部川石「春近」 D-070 紫檀長方天拝卓	五葉松 添え チョウジュ ユバイ 藤樹園	B-200 赤絵金銀 彩鳳文丸鉢 19-173 喉付藏文机卓	赤松文人 長板 添え セキショウ	A-018 五葉松「平安」 D-054 花梨幕板付机卓 E-076 足立泰道「松風」 脇床 クマザサ、チョウ ジュバイ 寄せ植え	A-080 野梅 19-177 紫檀平卓 E-117 高森幹蔵「羅浮春夢」	長寿梅 D-074 紫檀猫足中卓
28	1月27日(金) 2月1日(水)	椿(白玉) 清香園 19-175 花梨平巻卓	A-076 山もみじ D-073 紫檀中卓 添え セキショウ	C-140 安部川石「春近」 D-070 紫檀長方天拝卓	A-064 黒松 D-054 紫檀幕板付机卓	B-200 赤絵金銀 彩鳳文丸鉢 19-173 喉付藏文机卓	山香ばし D-074 紫檀猫足中卓 添え マンネ ングサ	A-17 五葉松「うず潮」 E-119 狩野栄信「雲龍園」 脇床 チョウジュバイ	A-099 野梅 19-176 花梨鉾付高卓 E-098 西山観空「香潔」	錦糸南天(青椿) 地板
29	2月3日(金) 2月8日(水)	椿 (品種不詳) D-075 紫檀高卓	寒ぐみ 芙蓉園 添え イノモト ソウ	C-015 只見川石 「磐梯山」 D-070 紫檀長方天拝卓 E-062 酒井抱一「松風」	A-127 檜 19-177 紫檀平卓	B-212 色絵唐子文六角鉢 D-059 真塗二段卓	小葉の髓菜 19-179 紫檀平卓 添え セキショウ	A-039 五葉松 D-060 紫檀大平卓 E-083 山田宗敏「青松多寿色」 脇床 ユキヤナギ 付書院 雉子	A-081 緋梅 D-055 紫檀算木卓 E-097 秋吉則州「無事は貴人」	杜松 地板
30	2月10日(金) 2月15日(水)	椿 (出雲大社) D-082 紫檀 中棧入六角 高卓	A-131 赤松 19-179 紫檀平卓 添え C-059 佐治川石	C-015 只見川石 「磐梯山」 D-070 紫檀長方天拝卓 E-062 酒井抱一「松風」	寒紅梅 清香園	B-212 色絵唐子文六角鉢 D-059 真塗二段卓	A-077 山もみじ D-018 紫檀算木机卓 添え セキショウ	A-049 いわして D-044 紫檀喉付机卓 脇床 クマザサ寄せ植え	A-030 五葉松「千尋」 D-031 天然影平卓	雪柳(瓦付き) 地板 E-064 作者不詳 「元禄美人糸繰り」
31	2月17日(金) 2月22日(水)	椿(玉之浦) D-056 紫檀輪花型 高卓	A-122 いわして D-055 紫檀算木卓	C-062 梓川雪渓石 D-051 潤山写天拝卓	A-061 五葉松 D-020 花梨竹節机卓	B-030.031 粉彩花卉文丸鉢 D-011 玉空算木机卓	おかめ桜 19-179 紫檀平卓	A-028 津山ひのき D-061 花梨幕付中卓 添え ユキヤナギ E-067 中原鄧州 「白雲断処家山砂」	A-099 野梅 19-176 花梨鉾付高卓 E-098 西山観空「香潔」 C-004 梅花石「梅屋」	土佐水木 D-026 天然影地板
32	2月23日(木祝) 3月1日(水)	おかめ桜 19-179 紫檀平卓	班入り定家かずら D-065 正方高卓	C-062 梓川雪渓石 D-051 潤山写天拝卓	A-124 真柏 D-073 紫檀中卓 添え セキショウ ウ	B-030.031 粉彩花卉文丸鉢 D-011 玉空算木机卓	椿(玉之浦) D-056 紫檀輪花型高卓	A-024 真柏 D-061 花梨幕板付中卓 E-076 秋吉則州「萬里一条鉄」 脇床 チョウジュバイ	A-079 梅(思いのまま) 19-173 喉付藏文机卓 E-117 高森幹蔵「羅浮春夢」	雪柳 長板
33	3月3日(金) 3月8日(水)	雪柳 19-175 花梨平巻卓	A-085 姫じゃら 19-177 紫檀平卓	C-061 瀬田川石「武蔵野」 19-179 紫檀平卓	A-116 杜松 D-054 紫檀幕板付机卓	B-193 二彩壽字 蝠雲文木瓜鉢 D-059 真塗二段卓	小真弓 D-065 正方高卓	A-068 黒松 D-061 花梨幕板付卓 E-072 足立泰道「松風」 脇床 チョウジュバイ	梅(紅筆) 蔓青園 E-124 幸野樺嶺「立雛園」 付書院 ユキヤナギ	雲龍椿 地板
34	3月10日(金) 3月15日(水)	白花草木瓜 九霞園	花梨 清香園	C-061 瀬田川石「武蔵野」 19-179 紫檀平卓	五葉松 藤樹園	B-193 二彩壽字 蝠雲文木瓜鉢 D-059 真塗二段卓	小葉の髓菜 D-070 紫檀長方天拝卓	A-089 杉 D-060 紫檀大平卓 E-078 秋吉則州「平常心是道」 脇床 タンチョウソウ	A-047 もみじ(出猩々) D-020 花梨竹節机卓 E-097 作者不詳「日日是好日」 C-042 佐渡赤玉石	長寿梅 D-074 紫檀猫足中卓
35	3月17日(金) 3月22日(水)	深山海棠 清香園	A-130 五葉松 E-004 紫檀竹節平卓 長板	B-012 青磁色 絵花鳥文木瓜鉢 D-059 真塗二段卓	木瓜(東洋錦) 添え テルナミ 芙蓉園	C-049 水石「神仙境」 19-179 紫檀平卓	山香ばし D-070 紫檀長 方天拝卓 添え アサギリ ソウ	A-022 真柏「北斎」 D-061 花梨幕板付中卓 脇床 チョウジュバイ 付書院 C-030 加茂川石「蜀山道」	A-132 椿(永楽) D-041 中透中卓 E-087 月庵「三賢人」	枝垂れ桜 D-065 正方高卓
36	3月24日(金) 3月29日(水)	大鳥桜 D-041 中透中卓	白花常盤万作 芙蓉園 添え イワダレ ヒトツバ	B-012 青磁色 絵花鳥文木瓜鉢 D-059 真塗二段卓	A-025 真柏 門倉寄贈卓 (木瓜形)	C-049 水石「神仙境」 19-179 紫檀平卓	真弓 D-065 正方高卓 添え セキショウ	A-017 五葉松 D-051 潤山写天拝卓 E-119 狩野栄信「雲龍園」 脇床 チョウジュバイと タツナミソウの寄せ植え	山桜 九霞園 E-033 今尾景年「朧月」	アメリカ葛 D-075 紫檀高卓
37	3月31日(金) 4月5日(水)	とねりこ 清香園	もみじ(出猩々) 芙蓉園 添え スズメノ ヤリ	B-280.281 瑠璃袖唐獅子牡丹 文長方鉢 D-018 紫檀算木机卓	A-127 檜 19-177 紫檀平卓	C-034 賤機糸掛石 D-070 紫檀長方天拝卓	A-132 椿(永楽) D-041 中透中卓	A-020 黒松 D-061 花梨幕板付卓 E-074 宇賀宗宇「知足」 脇床 アカバナシヨウマ	A-014 唐楓 D-020 花梨竹節机卓 真塗地板 E-069 金山穆韻「好尚古人心」	班入り定家かずら D-057 黒檀天然影高卓

(2) 【歴史と文化】盆栽クロニクル—年代記—

本展は、古代中国からはじまり、昭和初年の大宮盆栽村の誕生、そして平成元年の第1回世界盆栽大会の開催に至るまでの盆栽の歴史を紹介する常設のパネル展示である。

パネルのレイアウトは編年体により、各年代の項目を視覚的に区切りつつ、パネル自体は会場の壁面を一周する造作とした。歴史の一連の流れの中で、盆栽の移り変わりを一覧できるような展示

デザインである。

以上のパネル展示を常設化した上で、会場中央部のスペースにおいて、盆栽以外の収蔵資料や、大宮盆栽村100周年（令和7年度〔2025〕）に係る調査研究成果の一部を公開する特集展示として、開村に尽力した清大園主・清水利太郎の功績を顕彰して昭和11年（1936）に建設・除幕式が開かれた「清水瀨庵翁紀功碑」に関する貴重な資料群を紹介した。

出品資料一覧

第1期(前期) 4月16日(土)～5月18日(水) 収蔵資料特集展示

No	資料番号	作者・著編者・発行所	資料名	制作年	形状・点数
1	B-278	平安東福寺	緑袖長方鉢	昭和時代	隅入切立長方・1点
2	E-013	歌川国貞	五節句之内 上巳 市川団十郎	文化12年～天保13年(1815～1842)	大判錦絵・1点
3	E-170	歌川貞房	五月十六日 土水性のうけに入る	天保14年～弘化4年(1843～1847)	大判錦絵・1点
4	—	中島信義	草木実験 盆栽仕立秘法	明治35年(1902)	冊子・1点
5	—	作間餘三郎	家庭園芸 花卉と盆栽	明治38年(1905)	冊子・1点

第1期(後期) 5月20日(金)～6月29日(水) 収蔵資料特集展示

No	資料番号	作者・著編者・発行所	資料名	制作年	形状・点数
1	B-265	平安東福寺	緑袖鉢打丸鉢	昭和時代	丸・1点
2	B-269	平安東福寺	緑袖窯変長方鉢	昭和時代	切立長方・1点
3	E-145	歌川国久、歌川広重、三代歌川豊国	江戸乃花 名勝会	慶応元年(1865)1月	大判錦絵・1点
4	E-110	尾形月耕	婦人風俗尽 縫模様	明治24年(1891)	大判錦絵・1点
5	—	香樹園主人・江原春夢(編)	名家愛蔵 盆栽奇石逸品集	明治42年(1909)	冊子・1点
6	—	金井紫雲	盆栽の研究	大正3年(1914)	冊子・1点

第2期 9月17日(土)～10月12日(水)／11月11日(金)～11月23日(水祝) 収蔵資料特集展示

No	資料番号	作者・著編者・発行所	資料名	制作年	形状・点数
1	B-142	作者不詳(中国)	白泥秋草図長方鉢	不詳	隅切長方・1点
2	E-126	歌川国芳	有卦福叟の図	安政5年(1858)4月	大判錦絵・2枚続
3	E-130	作者不詳	新版盆栽庭尽	明治27年(1894)8月	大判錦絵・1点
4	F-009	岩崎灌園	草木育種	文化15年(1818)1月	冊子・2点
5	F-030	尾張屋清七	柴井王子巢鴨辺絵図	嘉永7年(1854)	大判・1点

第3期 令和5年2月4日(土)～4月5日(水) 大宮盆栽村100周年に向けた特集展示「開村10周年記念 清水瀨庵翁紀功碑の建設」

No	所蔵者	資料名	年代	点数
(1) 盆栽村建設記念会の発足				
1	九霞園	「大宮盆栽村満十周年記念事業発起趣旨」	昭和9年(1934)10月	1通
2	九霞園	印章「盆栽村建設記念会印」「記念碑建設会之印」	昭和9年(1934)10月頃	2点
3	九霞園	「盆栽交換会売原簿」「盆栽交換会買原簿」	昭和9年(1934)10月13日・14日	各2冊
(2) 紀功碑の石材				
4	九霞園	石材図面	昭和9年～昭和11年(1934～1936)	3枚
5	九霞園	手紙(記念碑石材の産地見分についての依頼)	昭和10年(1935)7月26日	1通
6	九霞園	「見積書」「証明書」	昭和10年(1935)	4通
7	九霞園	領収書(手付金領収)	昭和11年(1936)5月20日	1通
(3) 除幕式の挙行				
8	九霞園	「清水瀨庵翁紀功碑除幕式次第」	昭和11年(1936)11月3日	1通
9	九霞園	東京盆栽組合「祝詞」	昭和11年(1936)11月3日	1通
10	九霞園	写真 除幕式の様子・清水瀨庵翁記念碑と清水利太郎	昭和11年(1936)11月3日	3枚
(4) 寄付をした人びと				
11	九霞園	「清水瀨庵翁記念碑建設費収支報告」	昭和11年(1936)11月3日	1通
12	九霞園	寄附者芳名	昭和11年(1936)	1通
参考	当館	雑誌『盆栽』16巻12号	昭和11年(1936)12月5日刊	1冊

2 企画展・特別展

コレクションギャラリー及び企画展示室における借用品や共催による展示、また、盆栽に関連する美術作品や歴史資料を用いたテーマ性のある展示を、開催規模により企画展又は特別展として開催している。

令和4年度は、以下に挙げるとおり企画展5回、特別展1回を開催した。

(1) 夏休み子どもぼんさい美術館

会 期：7月16日(土)～8月31日(水) 42日間

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館

会 場：企画展示室、講座室

出品点数：パネル15点(B1)、11点(変型)

盆栽玩具：117点(20種類)

展示構成：

- 1 盆栽ってなに？
- 2 いろんな盆栽
- 3 盆栽のふしぎ
- 4 盆栽のむかしといま
- 5 盆栽をはじめてみよう

関連事業：

- 1 夏休みワークショップーこけ玉盆栽づくり
- 2 夏休み展オンライントーク
～清水ちえりさん(盆栽博士ちゃん)に聞く!～
日 時：7月18日(月祝) 10:00～11:00
ゲスト：清水ちえり氏
方 法：当館公式 YouTube で配信

印刷物：

ポスター B1判5枚、B2判260枚、A3判4,330枚

チラシ A4判 85,000枚

学習ノート(5枚1組) 2,000部

入館者数：4,464人(106人/1日)

担 当：林進一郎、立石見雪

開催概要：

本展は、小中学校の夏休み期間に、子ども向けに開催しているパネル形式の展覧会である。本展用に製作した「学習ノート」を希望者に配布し、パネルを参照してノートの質問に回答しながら、盆栽の

基本について学ぶことのできるプログラムである。昨年度に引き続き、さいたま市立漫画会館と連携を行い、両館を訪れて学習ノートの問題に回答した人に景品をプレゼントした。学習ノートの利用者数は448人であった。

パネルについては、本年度も感染症対策により点数の削減に努め、新規パネルの設置は小規模として、ポスターの表紙を飾った真柏(銘「寿雲」)の見どころや樹形の変遷について紹介した。

展示品については、本展の目玉になりつつある「盆栽のおもちゃ」を新たに5種類(25点)追加した。盆栽のおもちゃは、子どもや保護者を展覧会に惹きつける大きな役割を担うとともに、現代の日本において、盆栽がどのような「広がり」を示しているのかを、視覚的に分かりやすく伝えるという意図もある。盆栽をめぐる社会の動向を把握する上で、今後も引き続き、収集に努めていく予定である。

また、関連企画として、昨年度に引き続きロビーにおいて「大宮盆栽美術館の盆栽の魅力を伝えよう!～さいたま市立植竹小学校3年生の「盆栽新聞」～」を掲示した。当館近隣の植竹小学校3年生が2学期に実施する当館見学に先立ち、事前学習として作成した「盆栽新聞」を展示したものである。

関連事業のうち、夏休みワークショップについては26頁に記載する。小中学生を対象としたオンライントークでは、「盆栽博士ちゃん」として活躍中の清水ちえり氏をゲストに迎え、中学生の眼から見た盆栽の魅力や面白さについて発信を行った。



ポスター



展示風景(全景)



展示風景(盆栽のおもちゃ)

(2) 山水涼景～水石の世界

会 期：7月22日(金)～8月17日(水) 25日間

前期 7月22日～8月3日

後期 8月5日～8月17日

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館、
一般社団法人日本水石協会

会 場：ロビー、コレクションギャラリー

出品席数：18席(1週9席)

関連事業：

スライドトーク

日 時：①7月30日(土)、②8月7日(日)
いずれも 13:30～

講 師：①森前誠二氏(日本水石協会)
②加藤崇寿氏(日本水石協会)

参加者数：①13人、②15人

印刷物：ポスター B1判3枚、B2判200枚
チラシ A4判10,000枚

入館者数：2,608人(104人/1日)

担 当：林進一郎、立石見雪

開催概要：

盆栽とともに歩んできた古い歴史を持つ「水石」の魅力を紹介する展覧会である。自然の石の形状に山や海辺の風景などを見出して鑑賞する水石は、長い歴史によって育まれた独自の美意識を持つ。小さな石の中に大自然を見出す姿勢は盆栽と共通するものである。

当館では毎年夏の時季に一般社団法人日本水石協会との共催で水石展を開催し、山水の景趣をあらわした大自然の縮景ともいべき山水景石を初心者にも分かりやすく展示してきた。

展示作品については、“涼景”を感じさせる水石を中心に、水石界でもその名が知られる名石など前後期合わせて18点展示した。

全体を通して、水を感じさせる涼やかな色彩の水盤飾りなど、季節感のある席飾りが展観できた。

関連事業のスライドトークは、昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン開催となったが、本年度はロビーにて対面形式で開催し、参加者との質疑応答を交えて、鑑賞への理解をより深

められるものとなった。

出品作品一覧

前期 7月22日～8月3日		
場所	名称	所蔵者
ロビー	八海山石 名「風連洞」	石内勉
ギャラリー1	揖斐川石	寺内幸夫
ギャラリー2	加茂川石	英子メタクサス
ギャラリー3	安倍川石	荒木秀男
ギャラリー4	古谷石 名「春幽」 盆石(池大雅伝承石) 貫船石 鑄鋼苔屋舟	本出小左衛門
ギャラリー5	加茂川石	春花園BONSAI美術館
真の間	静岳石	廣瀬幸夫
行の間	伊予石 銘「龍眠溪」	船山秋英
草の間	加茂川石 銘「玉簾れ乃滝」	中川幹男
後期 8月5日～8月17日		
場所	名称	所蔵者
ロビー	八海山石 名「風連洞」	石内勉
ギャラリー1	孔雀菊花石	大川昌子
ギャラリー2	安倍川紫晃石	金慶樺
ギャラリー3	安倍川石	金原東憲
ギャラリー4	安倍川石	田中邦昭
ギャラリー5	古谷石 銘「敵傍山」	蔓青園
真の間	静岳石	石内勉
行の間	盆石	大川功
草の間	孔雀石	竹蓋雅幸



ポスター



八海山石 銘「風連洞」



古谷石 銘「敵傍山」

(3) 白砂と石の風景－「盆石」の旅

会 期：9月9日(金)～9月21日(水) 12日間

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館

協 力：一般財団法人細川流盆石

会 場：ロビー、コレクションギャラリー

出品席数：9席

関連事業：

盆石制作のデモンストレーション

日 時：9月17日(土) 13:30～14:30

講 師：一般財団法人細川流盆石

参加者数：40人

印刷物：ポスター B1判3枚、B2判200枚

チラシ A4判10,000枚

入館者数：1,367人(113人/1日)

担 当：林進一郎、立石見雪

開催概要：

本展は、日本の中世に端を発し、盆上の縮景を表現する伝統文化として、盆栽とも密接な関係を持つ「盆石」を特集したものである。

盆石とは、主に真塗の盆上に石を建て、白砂を撒いて、白鳥の羽根などを用いて水流や山岳等の文様を梳いて描き、山水の景観を縮景として表現する芸術である。

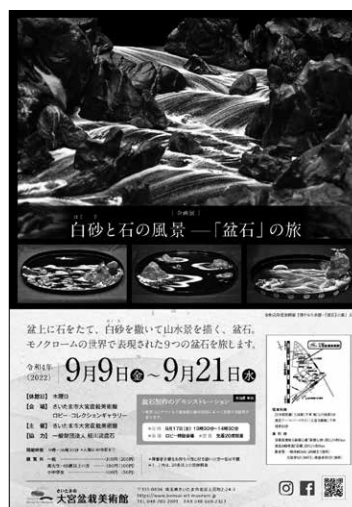
新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度及び令和3年度は開催中止となり、3年ぶりの開催となった。

本展では、一般財団法人細川流盆石の協力を得て、8名の会員各氏に出展いただいた。ロビー、ギャラリーには盆石の一席飾り、座敷飾りでは当館の盆栽とともに展示した。

また、普段触れることの少ない盆石の世界を身近に感じてもらうため、一般財団法人細川流盆石の会員による盆石制作のデモンストレーションを実施した。新型コロナウイルス感染症対策のため、過去に行っていた制作体験は実施できなかったが、デモンストレーションの参加者数は過去最多となり、多くの方に興味を持ってもらうことができた。

出品作品一覧

場所	作品名	作者
ロビー	盆石 「流水」	家元嗣 永島三奈子
ギャラリー1	盆石 「岸に寄せる波」	佐野寿美
ギャラリー2	盆石 「南アルプス・北岳」	久保田聡
ギャラリー3	盆石 「秋色」	美多賀鼻千世
ギャラリー4	盆石 「月の海辺」	網中順子
ギャラリー5	盆石 「晩鐘」	中根文江
真の間	足柄富士	和田聖子
行の間	盆石 「月夜」	酒井滋子
草の間	盆石 「未来都市」	美多賀鼻千世



ポスター



展示風景

(4) 特別展 Life with Bonsai
～はじめよう、盆栽のある暮らし

会 期：10月14日(金)～11月9日(水) 25日間
主 催：さいたま市大宮盆栽美術館
協 力：株式会社モデルノ
会 場：ロビー、コレクションギャラリー
出品点数：9席(盆栽の展示替えあり)
展示構成：

特別展スライドトーク

日 時：①10月15日(土)、②11月6日(日)
いずれも 13:30～14:30

講 師：担当学芸員

参加者数：①20人、②22人

印刷物：ポスター B1判3枚、B2判200枚
チラシ A4判10,000枚

入館者数：4,628人(185人/1日)

担 当：田口文哉、斎藤真之

開催概要：

展覧会名に据えた「Life with Bonsai(盆栽のある暮らし)」が示すとおり、コロナ禍において改めて注目された“おうち時間”の充実のため、盆栽とともにある魅力的な暮らしのスタイルを展覧会形式で提示する試みである。

本展では、盆栽に高い関心を示し、本企画に賛同いただいた各界で活躍するアーティストら9名(組)をゲストキュレーターとして招き、各展示席をいわゆる“一席持ち”の担当として、各人の盆栽のある暮らしや新たな飾りの楽しみをテーマに、盆栽を含めた展示を構成・演出いただくというコラボレーション展示を実施した。

また、企画展示室の一部を会場とし、「みんなのLife with Bonsai」をテーマとして、一般愛好家の盆栽との暮らしをテーマとした写真をSNS等で募集し、写真パネルにして紹介した。

なお、年度内に一度公開している当館所蔵の五葉松「日暮し」特別展示については、本展の真の間を担当した盆栽家・山田香織氏の座敷飾りの主品として組み込み、11月3日(木祝)～11月9日(水)に展示した。

展示内容については、あらかじめ各ゲストキュレーターと展示のイメージについて相談を重ね、美術作品等と取り合わせる盆栽の選定や配置・構成を共に検討した。設営時には、初めて盆栽との飾りを実践するゲストキュレーターが、調和した

飾りを求めて、それぞれ楽しみながら相応の時間をかけて演出を行った。

広大な空間となるロビーの展示においては、インテリアブランドと大宮盆栽村の蔓青園とのコラボレーションとして、ソファやローテーブルなどの家具と盆栽との現代的な設えを演出いただいた。ホテルのロビーのような落ち着いた空間に盆栽が映え、大変好評な展示会場となった。

また、展示会場には各ゲストキュレーターの展示に向けたメッセージを会場キャプションとして掲示し、各人の盆栽の楽しみ方や飾りの楽しみを来館者に直接伝える形式とした。鑑賞者は盆栽とのコラボレーション展示とともに、よりアーティストらの描くLife with Bonsaiに接することができたのではないかと考えている。

企画展示室における「みんなのLife with Bonsai」については、清香園彩花盆栽教室やオンライン盆栽展示会「ツイ盆展」の方々の協力があり、合計91人のLife with Bonsaiが披露された。

令和3年度に開催した2名のアーティストとのコラボレーション展示を出発点とし、盆栽を楽しむ可能性を大きく広げるべく、本展では盆栽のある暮らしの在り方を、9人・9通りのスタイルで提示した。それぞれのアーティストらの個性が発揮され、伝統的な盆栽の飾りにはない、現代的な盆栽の在り方を鑑賞者は楽しまれたのではないだろうか。なにより、ゲストキュレーターの9名がそれをまさに実践されていたことに、盆栽の秘められた可能性を見る思いがした。

Life with Bonsaiの楽しみを、多くの来館者とともに、来館者を代表するアーティストたちにも提供できる本展の枠組みを、今後も継続して検討していきたい。



チラシ(表)



チラシ(裏)

【場所、出品者、メッセージ】

○ロビー

TIME & STYLE × 加藤蔓青園

(インテリアブランド×盆栽家)

2013年より、六本木、新宿を中心に途絶えることなく今日に至るまで、インテリア空間に盆栽をかざり、今日的生活空間における盆栽の設え(しつらえ)を多くの方々に体感頂いています。今回は、大宮盆栽美術館のロビー空間を生かして、盆栽とともにある暮らしの豊かさを提案しました。



○ギャラリー1

高橋 俊宏

(編集者、株式会社ディスカバージャパン代表取締役社長兼統括編集長)

旅する盆栽

もうかれこれ盆栽と暮らして4年が経つ。毎朝水やりをすることから1日がはじまる。たまにリビングのテーブルにあげて盆栽を愛でながら酒を飲む。いつぞや実家の岡山に帰るときクルマに載せて一緒に旅をしたこともあった。目の前の小さな盆栽を眺めながら、チビリチビリと盃を舐める。



思い出すのは瀬戸内の白砂青松の景色。酒器は佐賀嬉野の吉田焼の窯元の蔵から掘り出したものだ。熱燗用のトックリはそのままお湯に沈められる実用的なかたち。盃とセットで描かれているのは地に足がつくという意味の縁起物の根引きの松。

正月はこの酒器で懸崖の松の盆栽を眺めながら一年の計を立てる。崖っぷちに必死に根を張る松を想像して思うことは多々。これは身が引き締まる。次に今年はどうなるところに旅をするのか妄想する。これが楽しい。

盆栽のある生活。心の旅の拠り所。なかなかよい。

○ギャラリー2

須田悦弘 (美術家)

今回はじめて盆栽と一緒に展示します。

普段から木で植物を彫り彩色をしたものを空間の中に置き、まわりの空間も作品の一部とするインスタレーションという見せ方をしています。今回はそのまわりの空間の中に盆栽が含まれていますのでその盆栽とどうからむのかがミソですね。

たのしんでいただければ幸いです。



○ギャラリー3

津森千里 (ファッションデザイナー)

Bon 彩

暮らしの中に、楽しさを！

自分の心の中に何かちょっと引っかかる物や、事を、集めてファッションのテーマや服作りをしています。

そうするとたくさんの自分の好きな物に囲まれてきます。

自分の巣のような生活になります。



「Bon 彩」と名付けたこの一席は、いろいろ自分の好きな物作った物で、構成しました。盆栽とは一見何も関係ない物だけれど、自分の好きな物や、事で空間作りをしました。

○ギャラリー4

ペトル・ホリー（研究者、元チェコセンター所長）

盆栽という単語を初めて意識したのはおそらく14歳の頃であった。私の生まれ育った故郷はチェコのプラハから車で30分ほど離れたドブジーシュという城下町。時折、私は小さな木を掘り起こし、実家で「ボンサイ」を作る試みをした。お小遣いで「チェコ製」盆栽鉢を陶芸家から譲ってもらったこともある。盆栽を通して日本を感じた毎日だった。



後に、チェコのシュルレアリスムを代表するヤン・シュヴァンクマイエル監督に邂逅し、歌舞伎や錦絵、日本文化について談話する機会に恵まれた。日本文化を愛でる監督の「館」には、龍安寺を模倣した「枯山水」もある。盆栽も人間による剪定から生まれた超現実的なコラージュ、つまりシュルレアリスムそのものであり、クンストカメラ（驚異の部屋）の一部であると私は考える。

○ギャラリー5

板坂諭（建築家、プロダクトデザイナー）

私は、大地からすくい取られ、一つの場所に拘束されない自由を与えられた木々を盆栽と呼び、愛でています。長い間、それらを愛でているうちに、その愛情は増していき、できることなら彼らにもっと自由を与えてあげたいと思うようになりました。一つの場所に拘束されない自由をさらに助長するために、重力からも解放し、自由に宙を舞い、本格的に大地から離してあげることを想像しています。愛しい盆栽に、上空から眺める美しい景色を見せてあげたい。夕日が沈む水平線も見せてあげたい。地球が広く、丸いことを教えてあげたい。



○行の間

大和田良（写真家）

床の間に掛けた写真作品のモチーフとなったのは、京都の加茂川流域を産地とする「水溜り石」。雨露を含んだ艶やかな黒と、光の反射が穏やかなコントラストを描く。手前の畳には、同じく水の流れを思わせる加茂川石を配し、付書院の盆栽と共に、空間に均衡と律動を生んでいる。

レンズを通して写され、写真によって再現された水石は、その石に宿るイメージが最大限に増幅され、また拡張される。



○草の間

ミヤケマイ（美術家）

新茶の茶壺の口を開くのは11月、お茶の世界では11月は茶正月というぐらいいハレの月です。その前の10月は名残の月と言われ、最後の古いお茶を味わい楽しみ尽くす侘び寂びの原点でもあり日本独特の美意識です。

タイトルの虫養いは、関西で小腹が空いた時のお腹の虫に与えるおやつ、軽食を指します。名残の月に合わせて、表具も泥大島や石畳、現代の高価なユーズド加工を彷彿とする、虫食いにあった様な加工をわざわざ表現した布で、ボロのようで錦を紅葉に合わせて選びました。軸先も土くれのような軸先、盆栽はお茶の木、少し金色を帯びた石は茶所の京都・宇治川上流の瀬田川石で物語を紡ぎました。

無くても生きていけるものにこそ時間、心血、神経を注いで、喜びや感動、楽しみを見出す芸術の秋に合わせて。



○真の間

山田香織（盆栽家、清香園）

The story of this exhibition

遠い異国、日本の文化に惚れ込んで20年。今日は、気に入ったBONSAIを眺めて、貪るように時間の流れを愉しみたい。静かに浸りながら、次の閃きを待つ時間が、何より贅沢だ。

Luxeという言葉の意味を調べると、フランス語で英語のLuxuryと同義語だと知った。ただ厳密にはニュアンスが微妙に異なり、Luxuryよりも本物志向という意味合いが強いらしい。単に物質的な贅沢さを表すだけでなく、Luxeはそこから、付加価値を見出せる豊かさを表現するという。盆栽とともにあるLuxeを、今回は表現したいと思う。



出品作品一覧

場所	出品者、出品作品等	盆栽（第1週、第3週）	第2週、第4週
ロビー	TIME&STYLE 家具類一式	羽団扇かえで、真柏、風鈴がまずみ、小真弓、ごんずい（第1週、第4週、蔓青園）	山柿、真柏、真弓、五葉松（那須娘、石付き）、枝垂れもみじ（第2週、第3週、蔓青園）
ギャラリー1	酒器（肥前吉田焼、佐賀県嬉野市）（高橋俊宏氏蔵） [Discover Japan] 2022年11月号ほか、色校正紙（Discover Japan）	真柏、ユキノシタ（第1週） 社松（第3週）	赤松
ギャラリー2	須田悦弘《もみじ》、木に彩色、2022年 須田悦弘《もみじ》、木に彩色、2022年	山もみじ	山もみじ（芙蓉園）
ギャラリー3	津森千里《お招き猫》2017年、 《Bonjour kakejiku》《denim des su》《my books》以上2022年	赤松	真柏（藤樹園）
ギャラリー4	ヤン・シュヴァンクマイエル 《エト・セテラ》フロクターージュ、1966年ほか9点 オットマン・スモリーク『（九代目）市川團十郎』、 『（五代目）尾上菊五郎』砂眼石版に手彩色、明治8年（1875）頃 （以上、すべてパトル・ホリー氏蔵）	真柏	長寿梅
ギャラリー5	板坂諭《Balloon Bonsai》、FRP・コード、2022年	アメリカ葛	初雪かずら
真の間	第1週（清香園） 主木 彩花盆栽（小橋、真弓、ナツハゼほか寄せ植え） 下草 彩花盆栽（ヤクシマヤブコウジ、長寿梅寄せ植え） 書院 彩花盆栽（赤松、長寿梅、早乙女つつじ寄せ植え） 脇床 彩花盆栽（ナツハゼ、深山霧鳥つつじ寄せ植え） 添え 彩花盆栽（胡蝶蘭、ヒトツバ、キリンソウ寄せ植え）	第2週（清香園） 主木 彩花盆栽（山香ばし、もみじ、吊り花ほか寄せ植え） 下草 彩花盆栽（唐辛子、黄金シダ寄せ植え） 書院 彩花盆栽（山香ばし、アメリカツタ、黄金シダ寄せ植え） 脇床 五葉松 添え 香丁木（苔玉）	
	第3週（清香園） 主木 彩花盆栽（赤松、ヤクシマヤブコウジほか寄せ植え） 下草 彩花盆栽（ヤクシマヤブコウジ、長寿梅寄せ植え） 書院 彩花盆栽（五葉松、モウコヒトツバ、黄金シダ寄せ植え） 脇床 彩花盆栽（檜、八房杉、ゴールテリアほか寄せ植え） 添え 彩花盆栽（夏ハゼ、リンドウ寄せ植え）	第4週（清香園） 主木 五葉松「日暮し」（【特別展示】大宮盆栽美術館） 書院 彩花盆栽（赤松、早乙女つつじ、長寿梅ほか／屋久島ヤブコウジ、長寿梅） 脇床 彩花盆栽（長寿梅、黒松、黄金シダ） 添え 彩花盆栽（白玉椿、南天、斑入り石菖／胡蝶蘭、ヒトツバ）	
行の間	大和田良《加茂川石》、ラムダプリント、2022年 加茂川石（大宮盆栽美術館）	黒松（藤樹園）	五葉松（藤樹園）
草の間	ミヤケマイ《虫養い Peckish》、ミクストメディア・軸、 2017年（水嶋龍一郎氏蔵）瀬田川石、舟（大宮盆栽美術館）	茶の木（第1週、第4週）	糸薄（第2週）、山香ばし（第3週）

(5) 第31回 作家展 (日本盆栽作家協会)

会 期：11月25日(金)～12月14日(水)

18日間

1期 11月25日～11月30日

2期 12月2日～12月7日

3期 12月9日～12月14日

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館、
一般社団法人日本盆栽作家協会

会 場：ロビー、コレクションギャラリー

出品席数：27席(1週9席)

関連事業：

スライドトーク

日 時：12月4日(日)13:30～

講 師：当館学芸員

参加者数：20人

印刷物：ポスター B1判5枚、B2判240枚、
A3判4330枚

チラシ A4判10,000枚

入館者数：2,184人(121人/1日)

担 当：菅原千華、立石見雪

開催概要：

一般社団法人日本盆栽作家協会は、盆栽作家精神の高揚と研究・研鑽及び盆栽作家の社会的地位の確立を目的として結成された協会である。当館では、同協会との共催により、平成23年度から毎年秋季に展覧会を開催してきた。

第31回展となる本展では、同協会所属の盆栽作家27名が仕立てた格調高い盆栽を展覧するとともに、作家のコメントを添えることで、作り手の熱い思いに触れられる展覧会となった。

また、同会会長の山田登美男氏や同会を代表する須藤雨伯氏、小林國雄氏によって、当館の座敷と調和した格式の高い席飾りが展観された。

出品作品一覧

1期		
場所	名称	所蔵者
ロビー	檜	矢内信幸
ギャラリー1	真柏、ヤクシマヤブコウジ	明石健夫
ギャラリー2	五葉松	中臺翔太
ギャラリー3	寒グミ、コガネシダ	今井千春
ギャラリー4	五葉松、セキショウ	上原幹夫
ギャラリー5	五葉松、ミセバヤ・コガネシダ・セキショウ寄せ植え	野上和義
真の間	五葉松 銘「竜笛」、軸：酒井抱一「大黒天」、脇床：セキショウ、脇床棚：九谷獅子香炉、付書院：百万塔	山田登美男
行の間	檜、イワナンテン、軸：竹内栖鳳「雀」、付書院：加茂川石	五十嵐善巳
草の間	長寿梅、軸：作者不詳「菊」	菊岡成泰
2期		
場所	名称	所蔵者
ロビー	五葉松	阿部健一
ギャラリー1	真柏、佐治川石	秋山実
ギャラリー2	皐(幸の司) 銘「龍雲」、ササ	豊里友次
ギャラリー3	赤松、コガネシダ	山口理津子
ギャラリー4	真柏、観音(木彫)	ラファエル
ギャラリー5	長寿梅、茅舎石	神康文
真の間	ズミ、軸：樵舟「紅葉」、脇床：ササ、付書院：仏塔	風間雄一
行の間	黒松、軸：草山人「波に朝日」、付書院：丹頂鶴(陶製)	小林國雄
草の間	赤松、軸：竹内栖鳳「鳥居に雪」	長尾憲輔
3期		
場所	名称	所蔵者
ロビー	枝垂れ梅	福館治
ギャラリー1	赤松、ヤクシマヤブコウジ	山田寅幸
ギャラリー2	長寿梅、佐治川石	馬場守一
ギャラリー3	山茶花	安藤芳広
ギャラリー4	真柏、梅花石、楓	岩本尚士
ギャラリー5	真柏、コガネシダ	米沢増雄
真の間	五葉松 銘「竜笛」、軸：酒井抱一「大黒天」、脇床：セキショウ、脇床棚：九谷獅子香炉、付書院：百万塔	山田登美男
行の間	山もみじ 銘「高山寺」、軸：竹内栖鳳「寒鴉」、付書院：茅舎香炉	須藤雨伯
草の間	真柏	篠原誠



ポスター



五葉松 銘「竜笛」



山もみじ 銘「高山寺」(行の間)

(6) 子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽

会 期：12月10日(土)～令和5年1月18日(水)
30日間

主 催：さいたま市大宮盆栽美術館、

会 場：企画展示室

出品席数：展示パネル 15 点、盆栽道具 30 点

展示構成：

- 1 まちたんけん～駅や美術館があるコース～
- 2 盆栽村のあゆみ
- 3 国際化する盆栽
- 4 盆栽をみる
- 5 盆栽をつくる
- 6 盆栽をつたえる

トピック 盆栽職人が使う道具

印刷物：

ポスター B1判 3枚、B2判 5枚

チラシ A4判 10,000枚

入館者数：3,275人(109人/1日)

担 当：菅原千華

開催概要：

学校向け冬季企画展示。小学校3年生が地域の特色や文化を学習する時期に合わせ、大宮盆栽村や盆栽の魅力子ども向けに紹介する展覧会である。

イラストや写真を豊富に用いて平易にまとめたパネルを掲示し、盆栽村の歴史や盆栽の国際化、鑑賞の仕方、育て方や職人の技術について紹介した。また、「まちがいさがし」のクイズや、当館近隣のさいたま市立植竹小学校3年生が取りまとめた盆栽新聞を会場に掲示し、楽しい雰囲気を出した。

さらに、昨年度に引き続き、盆栽職人の技術を伝える盆栽の手入れ道具を展示した。子どもにも親しみやすい内容のキャプションやパネルで使用方法を解説し、培養技術の奥深さを紹介した。



ポスター



展示風景1 (全景)



展示風景2 (盆栽道具)

Ⅲ 普及事業

盆栽文化の普及を目的とした事業として、当館では月例の定例講座をはじめ、展示やイベント等に合わせた不定期の特別講座や、学校との連携事業、その他イベント事業を数多く実施している。

令和4年度の定例講座の内、ワークショップ系講座では、昨年度実施した各種事業のオンライン化のノウハウを生かしつつ、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて、対面型とオンライン型を参加者の希望によって選択できるハイブリッド型講座として12月まで開催した。同感染症対策の見直し以降は、各種講座について参加者ニーズと時宜に応じ、定員増など柔軟な緩和策をいち早く導入して事業を継続した。

1 定例講座

(1) 盆栽ワークショップ —はじめての盆栽づくり

対 象：一般の方

日 時：4月～令和5年3月

毎月第3日曜日 14:00～15:30

実施数：12回

会 場：講座室

参加費：3,000円

参加者数(定員)：76人(12月まで：各6人、
1月から各8人)

講 師：大宮盆栽協同組合

担 当：齊藤真之、中村麗理、立石見雪

開催概要：

本講座は、With/After コロナ期に適応した開催方法として、ウェブ会議サービス「Zoom」を使用したオンライン形式と講座室における対面式の双方を採用し、受講者が申込み時に選択できるようにした。

令和5年1月以降は、新型コロナウイルス感染症対策の見直しを受け、申込者が希望する受講方

法の分析によって、定員を当初の6人から8人に増やし、対面形式での開催とした。

また、昨年度に引き続き、素材や材料のキット化と講師の手元作業の拡大映像の表示を行い、オンライン形式と対面形式の受講者双方にとって、わかりやすい講座となった。

なお、この受講が美術館への来館と大宮盆栽村訪問のきっかけとなるよう、講座内容には美術館の展示や盆栽園の紹介を加えるとともに、大宮盆栽協同組合から講師を迎えて実施した。



講座風景



講師による指導



ボランティアによる補助

盆栽ワークショップ一覧

No	開催日	素材	講師	参加者数(人)
1	4月17日	こはうちわかえで	藤樹園	6
2	5月15日	こはうちわかえで	藤樹園	7
3	6月19日	真柏	清香園	6
4	7月17日	真柏	清香園	6
5	8月21日	真柏	清香園	5
6	9月18日	長寿梅	芙蓉園	5
7	10月16日	長寿梅	芙蓉園	6
8	11月20日	長寿梅	芙蓉園	5
9	12月18日	信濃寒桜	九霞園	6
10	令和5年1月15日	信濃寒桜	九霞園	8
11	2月19日	信濃寒桜	九霞園	8
12	3月19日	にれけやき	藤樹園	8

合計76人

(2) 子ども向けワークショップ
ーはじめての盆栽づくり

対 象：小中学生

日 時：4月～令和5年3月（7月、8月除く）
毎月第3日曜日 10:00～11:30

実施数：10回

会 場：講座室

参加費：3,000円

参加者数（定員）：129人（12月まで：各6組、
1月から各8組）

講 師：大宮盆栽協同組合

担 当：齊藤真之、中村麗理、立石見雪

開催概要：

本講座は、With/After コロナ期に適応した開催方法として、ウェブ会議サービス「Zoom」を使用したオンライン形式と講座室における対面形式の双方を採用し、受講者が申込み時に選択できるようにした。

対面形式では、新型コロナウイルス感染症対策のため、子ども1人と保護者1人で1組として実施した。一方で、オンライン形式では人数の制限がなく、1組用の素材や材料を使用し、申込者本人とその兄弟姉妹と一緒に参加する場面もあった。

令和5年1月以降は、新型コロナウイルス感染症対策の見直しを受け、申込者が希望する受講方法の分析によって、定員を当初の6人から8人に増やし、対面形式での開催とした。

また、昨年度に引き続き、素材や材料のキット化と講師の手元作業の拡大映像の表示を行い、オンライン形式と対面形式の受講者双方にとって、わかりやすい講座となった。

なお、この受講が美術館への来館と大宮盆栽村訪問のきっかけとなるよう、講座内容には美術館の展示や盆栽園の紹介を加えるとともに、大宮盆栽協同組合から講師を迎えて実施した。



講座風景



講師による指導



水やり風景

子ども向けワークショップ一覧

No	開催日	素材	講師	参加組数	参加者数 (人)
1	4月17日	こはうちわかえで	藤樹園	6組	12
2	5月15日	こはうちわかえで	藤樹園	5組	13
3	6月19日	真柏	清香園	6組	12
4	9月18日	長寿梅	芙蓉園	5組	11
5	10月16日	長寿梅	芙蓉園	6組	12
6	11月20日	長寿梅	芙蓉園	6組	12
7	12月18日	信濃寒桜	九霞園	6組	12
8	令和5年 1月15日	信濃寒桜	九霞園	8組	16
9	2月19日	信濃寒桜	九霞園	8組	15
10	3月19日	にれけやき	藤樹園	7組	14

合計 63組 129人

(3) 盆栽実技

対 象：一般の方

日 時：4月～令和5年3月

毎月第4土曜日 13:30～14:30

実施数：12回

会 場：講座室

参加費：無料

参加者数(定員)：188人

(9月まで：各20人、10月から：各24人)

講 師：大宮盆栽協同組合

担 当：齊藤真之

開催概要：

大宮盆栽協同組合から講師を迎え、季節に合った盆栽の手入れ方法や知識を、実技を交えながら講義した。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として、昨年度に引き続き以下の点を変更し開催した。

- ・定員を設定
- ・当日整理券配布
- ・座席間隔の確保
- ・会場内消毒
- ・講義時間の30分短縮
- ・マスク着用徹底
- ・手元カメラ映像のスクリーン投影



講座風景

盆栽実技一覧

No	開催日	講師	参加者数(人)
1	4月23日	蔓青園	20
2	5月28日	蔓青園	18
3	6月25日	芙蓉園	16
4	7月23日	芙蓉園	11
5	8月27日	九霞園	12
6	9月24日	九霞園	10
7	10月22日	松雪園	11
8	11月26日	松雪園	18
9	12月24日	藤樹園	13
10	令和5年1月28日	藤樹園	20
11	2月25日	清香園	17
12	3月25日	清香園	22

合計 188 人

(4) スライドトーク

盆栽等の鑑賞の基本や出品物の見方、見どころを紹介し、来館者のより深い出品物及び盆栽文化への理解を育むため、毎月第1日曜及び第3土曜に、当館職員又は企画展等の出品者による解説会を開催している。本年度は、令和3年12月から引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえたスライドトーク(同トーク動画をYoutubeにて限定配信するハイブリッド型)を継続して実施した。

スライドトーク一覧

No	開催日	曜日	時間	名称	講師(敬称略)	参加者数(人)
1	4月3日	日	13:30～14:00	スライドトーク	林進一郎	30
2	4月16日	土	13:30～14:00	スライドトーク	田口文哉	13
3	5月1日	日	13:30～14:00	オンライン・スライドトーク	林進一郎	(15)
4	5月21日	土	13:30～14:00	スライドトーク	田口文哉	9
5	6月5日	日	13:00～14:00	スライドトーク	田口文哉	16
6	6月18日	土	13:00～14:00	スライドトーク	田口文哉	8
7	7月16日	土	13:30～14:00	スライドトーク	田口文哉	14
8	7月30日	土	13:30～14:30	スライドトーク (企画展「山水涼景～水石の世界」)	森前誠二 (日本水石協会)	13
9	8月7日	日	13:30～14:00	スライドトーク (企画展「山水涼景～水石の世界」)	加藤崇寿 (日本水石協会)	15
10	8月20日	土	13:30～14:00	スライドトーク	田口文哉	16
11	9月4日	日	13:30～14:00	スライドトーク	田口文哉	10
12	10月2日	日	13:30～14:00	スライドトーク	田口文哉	8
13	10月15日	土	13:30～14:30	スライドトーク (特別展「Life with Bonsai」)	田口文哉	20
14	11月6日	日	13:30～14:30	スライドトーク (特別展「Life with Bonsai」)	田口文哉	22
15	11月19日	土	13:30～14:00	スライドトーク	立石見雪	15
16	12月4日	日	13:30～14:00	スライドトーク (企画展「第31回作家展」)	田口文哉	20
17	12月17日	土	13:30～14:00	スライドトーク	立石見雪	13
18	令和5年1月8日	日	13:30～14:00	スライドトーク	田口文哉	9
19	1月21日	土	13:30～14:00	スライドトーク	立石見雪	20
20	2月5日	日	13:30～14:00	スライドトーク	田口文哉	10
21	2月18日	土	13:30～14:00	スライドトーク	立石見雪	14
22	3月5日	日	13:30～14:30	スライドトーク	田口文哉	20
23	3月18日	土	13:30～14:00	スライドトーク	立石見雪	10

※対面参加者のみ

合計

325人

夏休みワークショップ一覧

No	開催日	曜日	時間	講師	参加組数 (組)	参加者数 (人)
1	7月29日	金	10:00～11:30	藤樹園	6	7
2	7月29日	金	14:00～15:30	藤樹園	6	9
3	7月30日	土	10:00～11:30	藤樹園	6	7
4	7月30日	土	14:00～15:30	藤樹園	6	3
5	7月31日	日	10:00～11:30	藤樹園	6	7
6	7月31日	日	14:00～15:30	藤樹園	6	9
7	8月7日	日	10:00～11:30	藤樹園	6	12
8	8月8日	月	10:00～11:30	藤樹園	6	7
9	8月19日	火	10:00～11:30	藤樹園	6	14
10	8月20日	水	10:00～11:30	藤樹園	6	11

合計 60組 86人

2 特別講座

(1) 夏休みワークショップ —こけ玉盆栽づくり

対 象：小中学生

日 時：7月29日(金)～7月31日(日)

10:00～11:30、14:00～15:30

8月7日(日)～8月8日(月)

10:00～11:30

8月19日(金)～8月20日(土)

10:00～11:30

実施数：10回

会 場：講座室

参加費：2,000円

参加者数(定員)：86人(各6組)

講 師：大宮盆栽協同組合

担 当：石田留美子、齊藤真之

開催概要：

さいたま市内小学校の夏休み期間に合わせて、盆栽文化の普及を目的とした夏休みワークショップを開催した。

本講座は2年振りに対面形式で実施した。

実施にあたり、小中学生が簡単にこけ玉盆栽づくりができるよう、使用する材料や道具類、指導方法について工夫をした。これにより、小学校第3学年以上であれば、保護者の協力がなくても、子ども1人でこけ玉盆栽を作ることができた。

また、本年度はこけ玉盆栽用の用土(配合を調査検討したケト土、赤玉土)を自ら水を含ませながら混ぜ合わせる工程を取り入れ、成果品に対する達成感を高め、より盆栽への愛着と関心を引き出せるような内容とした。



こけ玉盆栽



講座風景

(2) 盆栽植え替えデー

対 象：小学生以上

日 時：10月14日(金)、10月15日(土)、
令和5年3月17日(金)、3月18日(土)
9:30～11:30、13:30～15:30

実施数：8回

会 場：講座室

参加費：無料

参加者数(定員)：56人(10月：各6人、3月：各8人)

講 師：大宮盆栽協同組合

担 当：石田留美子、齊藤真之、中村麗理、
立石見雪

開催概要：

盆栽の育成支援を目的とした、初心者向けの植え替え作業を実践する講座を開催した。本事業は、令和元年度まで実施した「盆栽相談デー」に代わる事業として、最も相談件数の多かった植え替え作業に特化して実施したもので、新型コロナウイルス感染症対策の見直しにより、令和5年3月は定員を6名から8名に増員して実施した。

参加者は自分が育てている盆栽を持参し、盆栽に合わせた技術指導を受けながら、植え替え作業を行った。参加者の持参した盆栽は、当館ワークショップ等の講座で仕立てた盆栽以外にも、盆栽園が実施した体験教

室等で仕立てた盆栽など、樹種も様々で、今後の管理方法全般についても相談する参加者が多かった。

また、当館駐車場にある盆栽共同販売所(大宮盆栽協同組合)の協力により、植え替えに必要な材料が小口の植え替えセットとして販売され、参加者に大変好評だった。

盆栽植え替えデー一覧

No	開催日	曜日	時間	講師	参加者数(人)
1	10月14日	金	9:30～11:30	藤樹園	5
2	10月14日	金	13:30～15:30	藤樹園	6
3	10月15日	土	9:30～11:30	藤樹園	6
4	10月15日	土	13:30～15:30	藤樹園	6
5	3月17日	金	9:30～11:30	藤樹園	9
6	3月17日	金	13:30～15:30	藤樹園	9
7	3月18日	土	9:30～11:30	藤樹園	7
8	3月18日	土	13:30～15:30	藤樹園	8



盆栽植え替えデーの様子

(3) 出張講座等

市内外の各種団体の依頼を受け、当館又は外部機関において、下記のとおり17回の講座を実施した。

盆栽文化に関する出講一覧

No	開催日	曜日	時間	名称	講師・出演(敬称略)	会場	参加者数(人)
1	4月25日	月	16:30～17:50	大妻女子大学博物館見学実習	林進一郎	オンライン	21
2	4月26日	火	16:30～17:50	大妻女子大学博物館見学実習	田口文哉	オンライン	23
3	5月15日	日	10:00～11:00	春風盆栽展ガイドツアー	田口文哉	国営昭和記念公園	20
4	5月15日	日	13:00～14:00	春風盆栽展ガイドツアー	田口文哉	国営昭和記念公園	25
5	6月21日	火	14:00～15:30	JWG Live! 022 盆栽の聖地 大宮盆栽村で伝統産業「盆栽」を味わう(株式会社ノットワールド)	田口文哉	オンライン	111
6	7月19日	火	14:30～15:30	川口市立高校美術授業	石田留美子	講座室	13
7	8月3日	水	14:00～16:00	さいたま市民大学 埼玉の魅力Iコース 人形・盆栽・漫画の魅力に迫る	田口文哉	講座室	2
8	9月21日	水	14:10～16:45	JR東日本大宮支社職員向け研修	田口文哉、タートン ハリー	講座室	20
9	10月14日	金	10:00～11:30	さいたま市出前講座「大宮盆栽美術館へ行こう」	立石見雪	本太公民館	39
10	10月18日	火	8:40～12:20	植竹小学校3年生国語科「大宮盆栽美術館のひみつを発表しよう」	石田留美子	植竹小学校	129
11	10月25日	火	13:30～14:20	埼玉県立浦和北高等学校「美術総合」	石田留美子	埼玉県立浦和北高等学校	30
12	10月28日	金	13:30～14:20	埼玉県立浦和北高等学校「美術総合」	石田留美子	埼玉県立浦和北高等学校	29
13	11月1日	火	10:30～11:00	岩槻城址公民館見学会	田口文哉	講座室	20
14	11月17日	木	13:45～16:30	植竹小学校令和4年度さいたま市教育研究会国語部研究大会 (ゲストティーチャー)	石田留美子	植竹小学校	113
15	11月28日	月	14:00～15:00	さいたま市出前講座「大宮盆栽美術館へ行こう」	田口文哉	デュオセヌ大宮	30
16	1月30日	月	10:00～12:30	みんなでミュージアム「美術館との実践型協働」トライアルプログラム(特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン)	田口文哉、中村麗理	講座室、盆栽庭園	6
17	3月1日	水	13:30～14:30	「BONSAI」の町大宮 ミニ盆栽教室 (公益財団法人埼玉県産業文化センター)	田口文哉	ソニックシティビル 市民ホール	50

合計 681人

3 学校連携

(1) 学校見学

さいたま市内小学校を中心に、校外学習等の授業の一環としての見学を受け入れている。

また、当館の利用促進及び効率的な学習活動を提供するため、さいたま市立小学校を対象として、当館の費用負担によるバスの借上げ事業を実施している。

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症対策のため、クラス入れ替え制で館内見学を実施し、バスでの待機中に解説を行った。館内見学では、班ごとの少人数で見学し、盆栽の正しい見方を考えたり、好きな盆栽を見つけたりして、児童自身が気付きや発見をできるようにするプログラムを実施した。

バス借上げ事業での見学は17校20回実施し、徒歩及び学校によるバス手配での見学希望の5校8回と合わせて、実施校数は過去最多の22校となった。

また、当プログラムをより多くの学校に活用してもらえるように、学習指導要領に則した内容とするため、市教育委員会指導1課にヒアリングを実施した。この調査の結果と累積データを踏ま

え、小学校3年生の社会科「地域学習」を対象とし、大宮盆栽美術館の特徴や大宮盆栽村について学ぶ令和5年度向けプログラムを新たに開発した。新規プログラムと従来の盆栽見学、新型コロナウイルス感染症対策のため中止していた盆栽体験を合わせて基本プログラムとし、令和5年1月6日（金）から1月31日（火）までに令和5年度のバス借上げ事業参加校を募集し、18校の申込みがあった。

担当：石田留美子、中村麗理、立石見雪

バス借上げ事業での見学

実施校：17校（20回）
バス借上げ台数：41台
人数：1,225人（引率を含む）

徒歩及び学校バス手配での見学

実施校：5校（8回）
人数：591人（引率を含む）

小学校見学総数

実施校：22校
（28回）
人数：1,816人
（引率を含む）



見学風景

学校見学一覧

【小学校】バス借上事業

No	日程	曜日	時間	学校名	学年	クラス数	人数	引率	合計	バス台数
1	6月1日	水	9:30~11:00	川通小学校	3	1	16	2	18	1
2	6月1日	水	13:30~14:30	城南小学校	4	2	54	3	57	2
3	6月3日	金	13:30~14:30	神田小学校	4	2	65	4	69	2
4	6月22日	水	9:40~11:00	岩槻小学校	4	2	76	3	79	2
5	6月24日	金	9:30~11:00	城北小学校	3	2	61	3	64	2
			13:30~15:00			2	62	3	65	2
6	6月27日	月	9:20~10:00	与野南小学校	3	2	44	4	48	2
7	7月8日	金	9:30~11:00	河合小学校	6	1	26	2	28	1
8	9月13日	火	9:20~11:00	原山小学校	3	4	108	7	115	3
9	9月16日	金	13:30~14:30	大久保小学校	3	2	43	5	48	2
10	9月28日	水	9:30~11:00	官原小学校	3	3	87	4	91	3
			13:30~15:00			3	91	5	96	3
11	10月4日	火	13:30~14:30	慈恩寺小学校	4	2	50	4	54	2
12	10月7日	金	10:30~11:20	北教育相談室・教育支援センター「はばたき」	複数	1	7	6	13	1
13	10月7日	金	12:50~14:20	桜木小学校	3	3	87	6	93	3
14	10月12日	水	9:30~10:20	東岩槻小学校	3	1	17	4	21	1
15	10月21日	金	10:00~11:00	柏崎小学校	3	2	38	4	42	2
16	11月25日	金	13:30~14:30	片柳小学校	2	2	49	6	55	2
17	1月27日	金	9:30~11:00	春岡小学校	3	3	91	4	95	3
			13:00~14:30			2	70	4	74	2
合計					17校(20回)	42クラス			1,225人	41台

【小学校】徒歩及び学校バス手配での見学

No	日程	曜日	時間	学校名	学年	クラス数	人数	引率	合計	来館方法
1	9月27日	火	9:00~10:00	植竹小学校	5	1	98	6	104	徒歩
			10:30~11:30			2				
2	10月4日	水	9:00~10:00	植竹小学校	3	2	129	6	135	徒歩
			10:30~11:30			2				
3	10月28日	金	12:00~13:00	上木崎小学校	3	2	144	8	152	バス
			13:30~15:00			3				
4	11月11日	金	9:15~10:30	辻南小学校	3	3	91	5	96	バス
5	2月1日	水	13:30~14:30	太田小学校	3	3	99	5	104	バス
合計					5校(8回)	18クラス			591人	

(2) 出張盆栽授業

① さいたま市立城南小学校

対 象：城南小学校 5年
日 時：一覧参照
実 施 数：2回
会 場：城南小学校
参加者数：58人(2クラス)
講 師：大宮盆栽協同組合、学芸員
担 当：中村慎太、中村麗理、立石見雪

開催概要：

城南小学校にて、総合的な学習の時間に実施された「さいたま市の人形と盆栽の素晴らしさを世界に発信すること」を目標とした授業のうち、盆栽について学ぶ授業に対する支援を行った。

一人一鉢の盆栽作りの体験として、剪定、ポット苗から鉢への植替え、コケはりを行ったほか、当館学芸員による盆栽の見方や楽しみ方についての講義を行い、本市の特徴的な地域資源である盆栽について学んだ。

なお、例年は3回に分けて授業を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、昨年度に引き続き今年度も2回となった。

完成した盆栽は、令和5年3月3日(金)から3月8日(水)まで、「さいたま市立城南小学校小学生盆栽作品展」として当館ロビーに展示し、授業内容を掲載したパネルとともに紹介した。

さいたま市立城南小学校授業一覧

No	開催日	時間	素材	作業内容
1	12月5日	8:50~10:15	真柏	剪定、幹掃除
		10:45~12:10		
2	令和5年2月27日	8:50~10:25	真柏	植え替え、コケはり
		10:45~12:20		



授業の様子



城南小学校の展示

② さいたま市北教育相談室・教育支援センター「はばたき」

対 象：さいたま市北教育相談室・
教育支援センター「はばたき」
日 時：11月18日(金) 9:50~11:40
実 施 数：1回
会 場：北教育相談室・
教育支援センター「はばたき」

参加者数：13人(教員4人含む)

講 師：大宮盆栽協同組合、学芸員
担 当：中村慎太、中村麗理、立石見雪

開催概要：

盆栽に関する授業と盆栽づくりの体験を通じて、さいたま市の特徴的な文化である「盆栽」や「大宮盆栽村」について学び、その魅力を発表できるようにすることを目標とした授業を実施した。

なお、「はばたき」では、本事業は初めての開催となり、先方の希望により、授業は1回のみ実施した。

このため、学芸員が授業の冒頭に行う盆栽についての解説では、さいたま市と盆栽の関係及び盆栽とは何かという2つのポイントに絞った。盆栽作りでは、素材である真柏の見どころと盆栽づくりの面白さを体験してもらうため、幹掃除と剪定、植え替えを行った。

参加者は小学校高学年から中学生までの9人と教員4人で、初めは恐る恐る作業していたが、次第に楽しみながらマイ盆栽を作り上げた。

また、完成した盆栽を、11月25日(金)から11月30日(水)まで、当館ロビーにて展示した。



授業の様子①



授業の様子②

③ 令和5年度に向けた改訂

主に小学校の学校教育において、当市に根付いた盆栽の文化を伝え、児童が盆栽に触れる機会を広く創出することを目指すとともに、盆栽をより授業に取り入れやすくするために、従来の盆栽づくりを重視した本事業内容の見直しを行った。

先行事例のあるうらわ美術館及び市立博物館において事例調査を行い、近隣小学校の教諭から教育現場での出張授業のニーズなどの聞き取り調査

を行った。また、市教育委員会指導1課にヒアリングを実施し、体験を重視する新たな教育方法の把握や各教科での実施の可能性など、学校教育と盆栽の取り合わせについて助言を仰いだ。これらの結果から、学習指導要領に則して盆栽を取り入れた授業案を作成し、令和5年度は、主に北区の小学校を対象とした事業の実施を計画している。

(3) 埼玉県立浦和北高等学校・越谷西高等学校 盆栽作品展

会 期：11月18日（金）～11月23日（水祝）

会 場：ロビー

参加者数：65人

浦和北高校59人、越谷西高校6人

担 当：石田留美子、田口文哉

開催概要：

埼玉県立浦和北高等学校（「美術総合」）及び越谷西高等学校（「美術Ⅲ」）では、美術科目において、埼玉県が世界に誇る日本の伝統的な文化である盆栽について、体験を通して理解を深め、地元に根付く伝統文化を大切にしている心情を育成することを目的とした授業を行っている。授業には当館学芸員が出講し、盆栽や盆栽村の歴史、鑑賞の基本などを紹介したほか、藤樹園の盆栽講師の指導により、生徒が事前に制作したオリジナルの盆器で盆栽づくりが行われた。本展示は、その成果発表の場として、当館が開催したものである。

盆栽授業は、浦和北高校では5年目、越谷西高校では3年目となり、浦和北高校では希望生徒数が多く、本年度も2クラスでの実施となった。



浦和北高校の展示



越谷西高校の展示

4 イベント

(1) ゆかた de 盆美

期 間：7月16日（土）～8月31日（水）

担 当：石垣香奈子

開催概要：

夏季の来館者アップを目的として、毎年恒例となった「ゆかた着用で観覧料無料」のキャンペーン及びInstagram投稿者に対して、オリジナルポストカードのプレゼントを行った。

① 観覧料無料キャンペーン

ゆかた・甚平もしくは和服を着た来館者本人を観覧料無料とした。

参加者数：62人（男性13人、女性49人）

② Instagram に投稿で オリジナルポストカードプレゼント

期間中に当館で撮影したゆかた写真をInstagramに投稿いただいた方に、オリジナルポストカードのプレゼントを行った。

参加者数：2人

(2) みんな de 盆栽になろう in さいたま市大宮盆栽美術館

期 間：12月16日（金）～令和5年1月18日（水）

担 当：田口文哉

開催概要：

企画展「子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽」に関連し、アーツカウンシルさいたま（公益財団法人さいたま市文化振興事業団）の協力により、同カウンシルが企画・制作した盆栽の顔出しパネル（9点）をロビーおよび盆栽庭園東側（冬季盆栽移動のための空き空間）に設置した。来館者の満足度向上をはじめ、賑わい及びSNSへの投稿による話題性の創出を目的とした。

また、「さいたま国際芸術祭2020」のレガシー事業として発行された「裏アートさいたま」誌をロビーにて配架した。



ゆかた de 盆美



みんなde盆栽になろう
パネル設置風景(盆栽庭園)

5 館外イベント出展事業（アウトリーチ活動）

民間企業等の協力のもと、館外にて盆栽関連イベントを実施し、当館及び盆栽文化のPRを行った。

期 日	イベント名称	場 所	内 容	観覧者数(人)
5月13日～5月15日	さいたま市フェア	イオン与野店	ポスター展示、チラシ配架	—
7月20日～8月10日	令和4年度春風盆栽展	国営昭和記念公園	パネル展示、チラシ配布	※2,870
6月1日～6月30日	中央区役所盆栽写真展	中央区役所食堂	盆栽写真パネル展、 チラシ配架	2,079
8月6日～8月7日	第50回 大宮日進七夕まつり	日進小学校	パネル展示、チラシ配布	※約170,000
8月20日	2022 オレンジサマーカーニバル	NACK5 スタジアム大宮	パネル展示、チラシ配架、 景品引換（ガラガラ）	※6,398
9月16日～9月20日	イオン「第9回埼玉フェア」	イオンレイクタウン mori	チラシ配架	—
10月1日	第5回ハッピーフェスタきたまち360	きたまちしましま公園	パネル展示、チラシ配架	—
10月7日～10月16日	うららか広場 ～イオンモール浦和美園から 広がる健幸の輪～	イオンモール浦和美園	チラシ配架	—
10月15日	第20回さいたま市桜区民ふれあいまつり	プラザウエスト	パネル展示	※約20,000
11月3日～11月6日	OMIYA BONSAI in URAWA	株式会社バルコ 浦和店	パネル展示	—
11月6日	令和4年度北区民まつり	市民の森・見沼グリーンセンター	パネル展示	※約45,000
11月6日～11月7日	2022 さいたまるしえ in さいたまクリテリウム	さいたま新都心けやきひろば	チラシ配架	—
11月12日	第20回西区ふれあいまつり	三橋総合公園	パネル展示	※約20,000
12月12日～12月25日	大宮盆栽美術館コレクション写真展 四季の美	市民ギャラリー	当館収蔵盆栽の写真展	128
令和5年 1月18日～1月24日	大宮盆栽を楽しもう！ in そごう大宮店	そごう大宮店	パネル展示	—
1月21日～1月22日	さいたまランフェス 2022-23	浦和駒場スタジアム	チラシ配架	—

※はイベント全体の来場者数

6 ボランティアの活動

期 間：4月～令和5年3月

会 場：大宮盆栽美術館

登録ボランティア数：28人

担 当：田口文哉、石田留美子、中村麗理、
立石見雪

概 要：

今年度は28人で活動した。新型コロナウイルス感染症対策の見直しによる事業実施方法の変更に合わせて、定例のワークショップや夏休みワークショップ、盆栽植え替えデー、学校見学などの活動を行った。

中止していたガイド活動も、5月のゴールデンウィークには、3年ぶりとなる大盆栽まつりの開催に合わせて、庭園で来館者の質問に答える「GW鑑賞サポート」を実施した。定点での質問対応と限定した内容であったが、対応した来館者数は304人と好評であった。また、11月からは盆栽庭園において随時来館者を案内する「庭園ガイド」を開始した。

オンラインで行っていた定例研修も、10月からは対面形式を再開し、2月に大宮盆栽協同組合の講師指導による植え替えの実技研修を2回行い、ボランティアのスキルの向上を図った。

また、令和5年度には、各人が希望した事業で専門的に活動し、個々のスキルの向上を図りながら充実した活動を行うことを目的として、既存ボランティア組織とさいたま国際アカデミー中級修了者の会とを統合した新しい組織「ミュージアム・サポーター」を発足する。令和5年2月に募集を行い、新規2名を含む39名の応募があった。

○定例ワークショップ

日 時：毎月第3日曜

10:00～11:30、14:00～15:30

実施数：22回

参加者数：のべ50人

○夏休みワークショップ

期 間：7月29日(金)～8月20日(土)のうち7日間

実施数：10回

参加者数：のべ30人

○盆栽植え替えデー

日 時：10月14日(金)、15日(土)、

令和5年3月17日(金)、18日(土)

9:30～11:30、13:30～15:30

実施数：4回

参加者数：のべ22人

○学校見学

期 間：6月1日(水)～令和5年2月1日(水)

実施数：28回(実施学校数22校)

参加者数：のべ96人

○GW鑑賞サポート

日 時：5月3日(火祝)～5月5日(木祝)

10:00～12:00、13:00～15:00

実施数：6回

参加者数：のべ29人

○庭園ガイド

日 時：11月5日(土)～3月27日(月)の

土・日・月曜日9:00～11:30、13:00～15:30

実施数：50回

参加者数：のべ62人

○定例ボランティア研修

日 時：主に毎月第4水曜9:30～11:30

4月27日、5月25日、6月29日、7月20日、

8月24日、9月29日、10月26日、11月30日、

12月28日、令和5年1月25日、3月22日

実施数：11回

参加者数：のべ120人

○盆栽実技研修(植え替え研修)

日 時：令和5年2月22日(水)、23日(木祝)

9:30～11:30

実施数：2回

参加者数：15人

Ⅳ さいたま国際盆栽アカデミー

平成 29 年 4 月に開催された「第 8 回世界盆栽大会 in さいたま」を契機として、さいたま国際盆栽アカデミー（以下、盆栽アカデミーという）を開講している。

世界に広がる BONSAI 文化の中心地・大宮盆栽村を舞台として、国内外における盆栽文化の普及を目的に、さいたま市大宮盆栽美術館が主催する、日本初の盆栽専門の公的な学習プログラムである。

盆栽に関する知識と技術を体系的に学び、盆栽に関心を持つ人や盆栽の普及に携わる人の人材育成の場になることを目指している。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 2 年度は全コースを中止し、令和 3 年度は日本人向けの初級コースのみ実施した。

令和 4 年度は、3 年振りに日本人向けの初級・中級・上級コース全てを開講し、実技は対面、講義はオンラインで実施した。カリキュラムの構成は、基本講座と共通講座とした。共通講座は、初・中・上級の全コース共通で受講する講座であり、これはオンラインの特性を活かしたものである。

また、外国人向け中級コースも開講し、大宮盆栽村の盆栽園主を講師に招き、盆栽愛好家のための講座を実施した。

1 日本人向けコース

	初級コース 一般の方	中級コース 初級コースを修了した方	上級コース 中級コースを修了した方
対象	6月4日～令和5年3月4日	9月10日～令和5年3月11日	6月26日～令和5年3月26日
期間 時間	【講義】10:00～11:30 【実技】Aクラス10:00～11:30 Bクラス14:00～15:30	【講義】10:00～11:30 【実技】Aクラス10:00～11:30 Bクラス14:00～15:30	10:00～11:30
講座数	9回（基本講座6回、共通講座3回）	11回（基本講座8回、共通講座3回）	12回（基本講座9回、共通講座3回）
参加費	23,900円	34,400円	32,400円
定員	10人（A・Bクラス各5名）	10人（A・Bクラス各5名）	5人
修了者 数	9人	10人	5人
概要	盆栽の観賞方法や歴史、盆栽作りや培養管理等、盆栽の知識を幅広く学習することを目的に開講した。	樹形構想や針金掛け等の盆栽作りの技術と、盆栽と密接な関係がある水石等の文化についての知識向上を目的に開講した。	中級コースで制作した盆栽の樹格向上と、盆栽文化を普及する人材の育成を目的に開講した。
講座内 容 講師	第1回【講義】盆栽の鑑賞法・種類と樹形 講師：当館学芸員	第1回【実技】盆栽制作（真柏の樹形構想） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第1回【実技】盆栽制作 （真柏の樹形構想・松柏の手入れ） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
	第2回【実技】盆栽制作 （鹿島もみじの季節の手入れ） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第2回【講義】水石について 講師：森前誠二（日本水石協会）	第2回【実技】盆栽制作 （ジンシャリ作り①・雑木の手入れ） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
	第3回【講義】盆栽の歴史 講師：当館学芸員	第3回【実技】盆栽制作（真柏の剪定） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第3回【講義】盆栽の審美眼を持つために 講師：加藤崇寿（蔓青園）
	第4回【実技】盆栽制作 （培養管理と鹿島もみじ・松柏の手入れ） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第4回【講義】盆栽の培養管理について 講師：小棚明生（芙蓉園）	第4回【実技】盆栽制作 （ジンシャリ作り②・松柏の手入れ） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
	第5回【実技】盆栽飾りの基礎知識 講師：日本盆栽協会インストラクター	第5回【実技】盆栽制作（針金掛けの基礎①） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第5回【実技】盆栽制作 （真柏の剪定・季節の手入れ） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
	第6回【実技】盆栽制作 （鹿島もみじの植え替え） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第6回【実技】盆栽制作（針金掛けの基礎②） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第6回【講義】盆栽文化を広げるために 講師：平尾成志（成勝園）
		第7回【講義】大宮盆栽村について 講師：当館学芸員	第7回【実技】盆栽制作（針金掛け①） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
		第8回【実技】盆栽制作（真柏の植え替え） 講師：日本盆栽協会インストラクター	第8回【実技】盆栽制作（針金掛け②） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
			第9回【実技】盆栽制作（植え替え） 講師：木村剛（盆栽かへるで）
		共通講座①【講義】江戸園芸文化史 講師：椎名和美（(公社)園芸文化協会）	
	共通講座②【講義】日本庭園史 講師：服部勉（東京農業大学教授）		
	共通講座③【講義】煎茶文化史 講師：工藤宏（元入間市博物館学芸員）		

2 外国人向け中級コース(盆栽愛好者向け講座)

対 象：盆栽愛好家の外国人

参加費：40,000円（1団体）

開催概要：

訪日盆栽ツアーで来館する盆栽愛好者を主な対象とし、大宮盆栽村の各園が持つ理論と技術を学び、帰国後に実践できる人材育成を目的に開講した。

各回の前半は、「盆栽総論」として盆栽や盆栽村の歴史についての解説を、当館に所属する国際交流員が行った。後半は、各盆栽園から招いた講師による講演を実施した。

① 雑木盆栽の手入れ

日 時：令和5年2月8日（土）

13時45分～15時45分

会 場：講座室

修了者数：19人

講 師：芙蓉園2代目園主 竹山浩氏

内 容：

雑木の培養管理の仕方や、梅盆栽の年間の手入れ、雑木の寄せ植えの方法とその管理の仕方についての講演を行った。

② 盆栽飾りについて

日 時：令和5年2月13日（月）14時～16時

会 場：講座室、ギャラリー、座敷飾り

修了者数：23人

講 師：清香園4代目園主 山田登美男氏

内 容：

美術館所蔵の盆栽、掛軸、卓を用いて、講師による飾りの実演と座敷飾りの考え方に関する解説を行った。

3 (仮称)さいたま国際盆栽アカデミー

中級修了者の会

本会は、盆栽アカデミーで得た知識や技術を生かし、美術館が行う大宮盆栽及び盆栽文化の普及事業に参画することを目的として、令和2年2月に発足した。ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、会の活動はできな

かった。令和3年度は、令和4年2月26日に発足後初めてのオンラインでの会議（Zoom）を開催し、令和4年3月13日に会員の盆栽についての実技講座をYouTubeで生配信した。

令和4年度は、発足後初めて対面式の活動を以下のとおり実施した。

中級修了者の会実技講座

日 時：令和5年3月12日（日）10:00～11:30

14:00～15:30

会 場：盆栽アカデミー実習場

参加者数：16人

講 師：日本盆栽協会インストラクター

昼間徹夫氏

内 容：アカデミーで制作した盆栽のその後の培養管理についての相談や整姿作業を、講師のアドバイスの元で実施した。

4 担当

林進一郎、中村麗理、立石見雪



日本人向けコースの実施風景



外国人向けコースの実施風景

V 国際交流

1 米国立盆栽・盆景園との姉妹館交流事業

令和4年度は、同園学芸員と互いの展覧会や刊行物の情報を提供するなど、電子メールを介して情報交流を行った。

また同園は、令和8年(2026)に開館50周年を迎えるため、これを記念したさまざまな催しを計画している。当館においても令和7年度に大宮盆栽村の開村100周年を迎えることから、相互に開館、開村を記念した展覧会等を企画することが有意義であることを確認した。

当館からは参考として大宮盆栽村の歴史に関するブックレットの英語版データを提供し、パネル等を今後製作する際には、図版のデータ提供や版權処理等の実務を補助することとした。

また、日本で開催された大規模な盆栽展の視察に合わせ、同園の運営を支援する米国盆栽財団の理事長リチャード・カーン氏、元理事長で同園の元盆栽キュレーターのジャック・サスティック氏が来館し、コロナ禍の終息に向けて情報交流や将来的な人的交流を促進していくことを確認した。

2 その他の交流

○キャンベラ国立樹木園

オーストラリア首都特別地域が運営する同園は、2008年に盆栽盆景の展示施設を開設した。当館は同園と情報交流を行っており、将来的な姉妹館提携について相互に検討を重ねている。

○「Bonsai Culture Expo」への

メッセージ動画提供

パリ市が運営するパリ花公園内には、1989年に常設の盆栽展示施設が開設されている。同公園を会場として、パリ市や日本国大使館の協賛により、2021年から民間事業者が大規模な盆栽イベ

ントを実施している。令和4年には、同事業者の依頼により、当館館長のメッセージ動画を提供し、会場で放映された。

VI 調査研究及び社会貢献活動

1 執筆・寄稿・講師・出演

- (1)日本盆栽協会『盆栽春秋』590号、592号、593号、595号、597号、599号、601号、602号、「収蔵品紹介」(7回)、「展覧会報告」(1回)、寄稿：林進一郎、菅原千華、立石見雪
- (2)石田留美子「地域の魅力を伝える美術館でのコロナ禍におけるボランティア活動—シビックプライドを育む、大宮盆栽美術館の取り組み—」、『会報 第89号 vol.26 no.1 別冊 Web版』、日本ミュージアム・マネジメント学会、令和5年3月

VII 資料

1 購入資料

本年度は、絵画資料等3件、歴史・民俗資料1件(16点)を購入した。これらの資料は、令和5年2月17日に開催された、さいたま市盆栽資料等選考評価委員会を経て、当館所蔵品として承認された。

購入資料一覧

No	分類	資料名	作者等	点数	年代	寸法 (高×幅×奥行cm)
1	歴史・民俗資料	煎茶会 図録一式	—	16点	明治時代 ~大正時代	—
2	絵画資料等	玩具絵 十二月短冊	西澤 笛畝	1揃 (11枚)	昭和時代	各36.3×6
3	絵画資料等	盆栽図画帖	奥原 晴湖	1冊	明治9年 (1876)	17.8×23.5×1
4	絵画資料等	青山流 水太悠々	平櫛 田中	1幅	昭和36年 (1961)	192×42

このほかに盆栽の植え替えに使用する盆器を11点購入した。

No	分類	資料名	作者等	年代	寸法 (高×幅×奥行cm)
1	実用盆器	紫泥外縁下帯切足長方鉢	不詳	現代	18×57×37
2	実用盆器	紫泥外縁額面隅入長方鉢	中国鉢	現代	17×64×50.5
3	実用盆器	烏泥外縁上帯長方鉢	中国鉢	現代	20×61.5×43.5
4	実用盆器	朱泥外縁雲足長方鉢	中国鉢	現代	13×50×36.5
5	実用盆器	秀峰青釉外縁下帯丸鉢	義村秀峰	現代	17.5×50×50
6	実用盆器	秀峰緑釉外縁下帯丸鉢	義村秀峰	現代	17.5×50×50
7	実用盆器	信楽焼瑠璃釉長方水盤 (大)	信楽窯	現代	25×47×4
8	実用盆器	信楽焼瑠璃釉長方水盤 (小)	信楽窯	現代	23×37×3
9	実用盆器	紫泥古鏡型鉢	斉田三步	現代	11×53×53
10	実用盆器	紫泥外縁長方鉢	斉田三步	現代	21×62×47.5
11	実用盆器	烏泥外縁袋式長方鉢	斉田三步	現代	26×70×52

2 収蔵資料利用

(1)館外貸し出し(1件)

貸出先: 一般社団法人日本水石協会

目的: 同協会主催「第10回 日本の水石展」
(会期: 令和5年2月13日~18日、
東京都美術館)における招待出品とするため。

資料: 水石 C-061 瀬田川石 銘「武蔵野」
卓 D-070 紫檀長方天拝卓

(2)特別使用(7件) ※撮影または原板の使用

内訳: 盆栽10点、絵画資料等6点、
歴史・民俗資料2点

3 収蔵資料件数

収蔵資料件数一覧

分類記号	分類	令和3年度まで	令和4年度	計
A	盆栽	127	0	127
B	盆器	342	0	342
C	水石	69	0	69
D	卓	81	0	81
E	絵画資料等	175	3	178
F	歴史・民俗資料	58	16	74
	合計	852	19	871

4 図書寄贈者一覧

あくあびあ芥川共同活動体
朝霞市博物館
アジア太平洋観光社
一般財団法人 細川流盆石
一般社団法人 日本水石協会
一般社団法人 日本盆栽協会
一般社団法人 日本盆栽作家協会
エスプレス・メディア出版
太田記念美術館
春日部市郷土資料館
株式会社 JTB パブリッシング
株式会社アジア太平洋観光社
株式会社岐阜新聞社
株式会社近代出版
株式会社地球の歩き方
株式会社マガジンハウス
株式会社よみうり地域サービスセンター
川口市立アートギャラリー・アトリア
川越市立博物館
川越市立美術館
九州産業大学美術館
行田市郷土博物館
久喜市郷土資料館
熊谷市立熊谷図書館
公益財団法人 園芸文化協会
公益財団法人 渋沢栄一記念財団
公益財団法人 鳥取市文化財団
公益財団法人 日本博物館協会
国際障害者交流センター ビック・アイ
彩湖自然学習センター
埼玉県平和資料館
埼玉県立川の博物館
埼玉県立自然の博物館
埼玉県立嵐山史跡の博物館
埼玉県立歴史と民俗の博物館
さいたま市岩槻人形博物館
さいたま市うらわ美術館
さいたま市教育委員会生涯学習部文化財保護課

さいたま市スポーツ文化局文化部文化政策室
さいたま市立浦和博物館
さいたま市立博物館
さいたま文学館
幸手市教育委員会
狭山市立博物館
すみだ郷土文化資料館
瀬戸蔵ミュージアム
全日本愛瓢会
台東区立中央図書館 郷土・資料調査室
たばこと塩の博物館
玉川大学教育博物館
千葉市美術館
地方史研究協議会
鉄道博物館
東京国立近代美術館
東京都江戸東京博物館
東邦出版株式会社
遠山記念館
独立行政法人 国立文化財機構文化財活用センター
独立行政法人 造幣局
独立行政法人 日本芸術文化振興会 日本博事務局
戸田市立郷土博物館
長崎歴史文化博物館
名古屋市東山植物園
成田山書道美術館
西尾市岩瀬文庫
日本園芸協会
根津美術館
練馬区立石神井公園ふるさと文化館
富士見市立難波田城資料館
富士見市立水子貝塚資料館
府中市郷土の森博物館
文京区立森鷗外記念館
文京ふるさと歴史館
三重県立美術館
見沼・さぎ山交流ひろば運営協議会
宮代町郷土資料館
武蔵国分寺跡資料館
武蔵大学

立教大学
株式会社マイス
BUNKER HILL PUBLISHING
ICOM-DRMC 2021 実行委員会
Kodansya USA Publishing
NHK 出版
Programme bonsaiepo.fr
Walther und Franz Konig,Cologne

Ⅷ 広報活動

1 ニュースレター「ジンシャリ」

発行：年間4回（季刊）

41号(4～6月)、42号(7～9月)、

43号(10～12月)、44号(令和5年1月～3月)

仕様：A3判2つ折り(A4判)

内容：3か月ごとの展覧会および普及事業、イベント情報の告知等

※「ジンシャリ」とは、盆栽の見どころとなる「ジン」および「シャリ」（枝や幹の一部が枯れて白く残る部位。枝をジン、幹をシャリと呼ぶ）からなる誌名。

2 公式 SNS の運用

公式 Facebook 及び Instagram にて、展示中の盆栽画像の投稿や、展示・イベント情報の告知を定期的に行った。

当館 Facebook の特徴として、「いいね！」の件数の大半を海外の閲覧者が占めていることを挙げられる。また、言語別フォロワー数を見ると、1位の英語（米国）と5位の英語（イギリス）の合計が2位のスペイン語や3位の日本語の3倍以上を占めており、英語圏による閲覧者が多いことから、投稿にあたっては原則として日英表記としている。年代別のフォロワーの割合は、35～44歳の年代が30%と最も多く、45～54歳、25～34歳の年代が約20%と幅広い年代での興味関心の高さが伺える。

同様に、Instagram もコメントの大半が英語であり、日本以外のフォロワーが80%以上を占めることから、投稿にあたっては原則として日英表記としている。

(1) Facebook

開設日：平成25年7月25日

いいね数：59,606件（令和5年6月29日時点）

フォロワー数：63,193件（令和5年6月29日時点）

地域別フォロワー数トップ10：

（令和5年6月29日時点）

順位	国・地域名	件数
1	日本	6,410
2	台湾	5,328
3	アメリカ合衆国	4,760
4	タイ	4,470
5	ベトナム	3,371
6	ブラジル	2,553
7	インドネシア	2,533
8	マレーシア	2,476
9	メキシコ	2,342
10	フィリピン	2,281

言語別フォロワー数トップ5：

（令和5年6月29日時点）

順位	国・地域名	件数
1	英語（米国）	14,266
2	スペイン語	5,961
3	日本語	5,655
4	繁体中国語（台湾）	5,290
5	英語（イギリス）	4,241

年代別フォロワー割合：

（令和5年6月29日時点）

順位	年代	割合
1	35～44歳	30
2	45～54歳	23
3	25～34歳	20
4	55～64歳	13
5	65歳以上	9

(2) Instagram

開設日：平成29年12月14日

フォロワー数：36,551件（令和5年6月29日時点）

3 ウェブサイトの運用

当館ウェブサイトにおいて、展覧会情報や普及事業の開催情報をはじめ、学芸員の連載記事の掲載や新型コロナウイルス感染症対策に係る来館者へのお願いなどを積極的に公開、周知した。

4 主な広報実績

取材媒体	対応実績数	主な掲載媒体（順不同）
テレビ・ラジオ	11	テレビ埼玉、NHK国際放送局、吉本興業ホールディングスBSよしもと、共同テレビジョン、JCOM株式会社、BS Japanext、テレビ朝日、NHK WORLD、日本テレビ、FMチャッピー
新聞	17	読売新聞、東京新聞、埼玉新聞社、朝日新聞、産経新聞社
雑誌・情報誌	16	マガジンハウス「Brutus」、地球の歩き方「地球の歩き方107 埼玉」、よみうり地域サービスセンター「埼玉中央よみうり」、たまログ事業部「たまログ8月号」、成美堂出版株式会社「まぐ地図 東京近郊散歩 2023-2024」、株式会社イシクラ「埼玉県トラック協会会報誌」、NHK出版「趣味の園芸」、株式会社インプレス「デジタルカメラマガジン」、株式会社近代出版「近代盆栽」、TAC出版「心躍る博物館」、ひらがなタイムズ「ひらがなタイムズ」、株式会社昭文社「まっふるマガジン まっふる埼玉'24」、株式会社「TBパブリッシング」るぶ埼玉 川越 秩父 鉄道博物館'24、産経新聞社「くらしの百科」
ウェブサイト	6	Acore おおみや「Acore おおみやウェブサイト」、一般社団法人観光光広域連携事業推進協議会「TOKYO & AROUND TOKYO」、有限会社志楽社「大宮マガジン」、一般社団法人埼玉県産物産観光協会「ちよこたび埼玉SNS」、株式会社中村コミュニケーションズ「埼玉日和」
海外広報・報道	1	ASIE INSOLITE(フランスのTV)
さいたま市・行政機関(市外)	9	さいたま市観光国際課、さいたま市広報課、埼玉県産業労働部観光課、埼玉県県民生活部広報課、石川県観光戦略推進部国際観光課

IX ミュージアムグッズ

令和4年度に取扱いをしたミュージアムグッズは以下のとおり。(価格は税込み)

	品名	価格
図録		
1	美術コレクション名品選	800
2	錦秋 盆栽村の美と歴史 Part1	500
3	盆栽×写真 vol.1 大和田良写真展 「FORM - SCENERY SEEN THROUGH BONSAI -」	2,940
4	盆栽×写真 vol.2 糸崎公朗作品展 「Kimio Itozaki Bonsai PHOTO WORKS」	1,600
5	盆山 BONSAN - 屏風に息づく中世の盆栽 (※9月で取扱い終了)	1,000
6	盆栽につもる雪 - 「鉢木」物語の世界	1,200
7	大宮盆栽村の歴史展Ⅲ 世界のBONSAIへ 1945-1989	300
8	明治の盆栽事情 - 昭和のお父さんの背景 (※8月で取扱い終了)	300
9	「第8回世界盆栽大会 in さいたま」 記念特別展 盆栽 - さいたま発の世界ブランド	500
10	三代目尾上菊五郎改メ、植木屋松五郎!? - 千両役者は盆栽狂	1,000
11	シリーズ・現代の盆栽家 I 竹山浩 - 自然を巡る、雑木の匠	500
12	シリーズ・現代の盆栽家 II 木村正彦 - あそびの領分	500
13	国風盆栽展の誕生 - 「美術館」を目指した昭和初期の盆栽	1,000
14	盆栽美術本 時空の美 - 盆栽 Beauty of Space and Time-BONSAI	2,000
15	Bonsai, Beyond the Border 海を越えた盆栽家 吉村西二 - ニューヨーク、1958	500
16	シリーズ・現代の盆栽家 III 山田登美男 - 盆栽、美の探求	500
17	ガイドブック	500
18	〈盆栽〉の物語 (日・英)	300
19	大宮盆栽村の誕生・100年のあゆみ(日・英)	300

	品名	価格
手ぬぐい		
20	日暮し	1,000
21	BONSAI	800
22	青龍	1,200
23	額装用日暮し	1,200
雑貨		
24	クリアファイル (日暮し)	250
25	クリアファイル (鉢植えつくし)	200
26	Tシャツ	1,200
27	絵葉書	100
28	絵葉書 (大判)	150
29	割箸 (5膳セット)	250
30	ハンカチ (紺・緑)	500
31	トートバック	800
32	マスキングテープ	500
33	初心者向け道具セット	9,800
34	メモ帳 (寿雲・思いのまま)	500
35	傘	2,000
36	のれん (大)	4,500
37	のれん (小)	3,800
38	風呂敷 (赤、紺)	4,000
39	盆栽置	6,500
40	ネックストラップ	1,200
41	オリジナル盆器	12,000
食品		
42	大宮盆栽だー！！ ※館内飲食の場合は203円	200

X 入館者数等

1 入館者数

令和4年度

(人)

	一般	65歳以上	高大生	小中学生	年間パスポート等利用	講座・学校・視察等	開館日数	1日あたりの入館者数	合計
4月	1,753	667	47	95	186	415	26	122	3,163
5月	3,868	1,613	105	219	327	1,022	28	256	7,154
6月	1,218	576	36	35	161	753	22	126	2,779
7月	1,242	285	111	22	321	600	27	96	2,581
8月	1,395	228	99	13	521	533	28	100	2,789
9月	1,288	354	64	58	180	881	25	113	2,825
10月	2,077	794	98	86	276	1,217	27	168	4,548
11月	2,407	1,214	106	94	297	998	27	189	5,116
12月	1,147	400	74	96	191	497	24	100	2,405
1月	1,509	439	57	81	173	796	24	127	3,055
2月	1,517	702	75	60	245	760	25	134	3,359
3月	1,865	876	123	82	268	672	26	149	3,886
計	21,286	8,148	995	941	3,146	9,144	309	141	43,660

※年間パスポート購入時の利用は、一般、65歳以上、高大生、小中学生の区分を含む。

※「1日あたりの入館者数」の合計欄には、年間を通した1日あたりの入館者数を掲載。

(参考資料)

(人)

	一般	65歳以上	高大生	小中学生	年間パスポート等利用	講座・学校・視察等	開館日数	1日あたりの入館者数	合計
平成22年度	30,990	25,806	-	970	587	7,210	295	222	65,563
平成23年度	21,931	16,430	-	812	312	10,850	298	169	50,335
平成24年度	19,128	14,152	467	767	315	14,570	297	166	49,399
平成25年度	20,899	13,268	520	779	330	15,131	301	169	50,927
平成26年度	24,180	15,943	609	863	6,230	12,736	305	199	60,561
平成27年度	30,026	19,536	790	1,013	5,129	17,223	306	241	73,717
平成28年度	28,793	17,671	720	1,005	5,425	22,013	309	245	75,627
平成29年度	39,911	27,450	703	1,374	6,196	20,367	307	313	96,001
平成30年度	29,676	17,306	900	1,098	4,570	18,610	307	235	72,160
令和元年度	27,143	14,901	901	1,017	4,403	14,843	281	225	63,208
令和2年度	10,692	3,399	565	467	1,924	3,021	258	78	20,068
令和3年度	15,237	5,150	659	932	2,380	6,956	307	102	31,314

※開館からの累計観覧者数(～R4.3.31) 755,151

2 展覧会別入館者数(企画展・特別展)

(人)

No	名称	会場	会期	開館日数	1日あたりの入館者数	入館者数
1	企画展「夏休み子どもぼんさい美術館」	企画展示室	7月16日(土)～8月31日(水)	42	106	4,464
2	企画展「山水涼景～水石の世界」	コレクションギャラリー	7月22日(金)～8月17日(水)	25	104	2,608
3	企画展「白砂と石の風景―「盆石」の旅」	コレクションギャラリー	9月9日(金)～9月21日(水)	12	113	1,367
4	特別展「Life with Bonsai ～はじめよう、盆栽のある暮らし」	コレクションギャラリー	10月14日(金)～11月9日(水)	25	185	4,628
5	企画展「第31回 作家展(日本盆栽作家協会)」	コレクションギャラリー	11月25日(金)～12月14日(水)	18	121	2,184
6	企画展「子どもたちに伝えたいさいたまの盆栽」	企画展示室	12月10日(土)～令和5年1月18日(水)	30	109	3,275

3 外国人入館者数

令和4年度 (人)

順位	国・地域名	人数
1	アメリカ	785
2	オーストラリア	210
3	ドイツ	178
4	イギリス	159
5	中華人民共和国	132
6	フランス	122
7	台湾	94
8	韓国	91
9	タイランド	88
10	イタリア	83
合計 90ヶ国・地域		2,988

令和3年度 (人)

順位	国・地域名	人数
1	アメリカ	194
2	フランス	77
3	中華人民共和国	76
4	ロシア	44
5	フィリピン	40
6	インド	36
7	韓国	29
8	オーストラリア	27
9	ベトナム	26
10	イギリス	23
合計 61ヶ国・地域		807

令和2年度 (人)

順位	国・地域名	人数
1	アメリカ	101
2	中華人民共和国	51
3	ドイツ	31
4	フランス	31
5	インド	30
6	イギリス	23
7	ベトナム	19
8	韓国	17
9	スリランカ	16
10	フィリピン	14
合計 61ヶ国・地域		503

4 施設利用

講座室：21件

※ふれあい広場は大宮盆栽協同組合が通年利用し、盆栽等を販売している。

XI 条例・規則

○さいたま市大宮盆栽美術館条例

平成21年7月17日

条例第30号

改正 平成25年12月26日条例第46号

平成31年3月13日条例第2号

(設置)

第1条 盆栽に関する知識及び教養の向上を図り、盆栽文化の振興に寄与するため、さいたま市大宮盆栽美術館（以下「美術館」という。）をさいたま市北区土呂町2丁目24番地3に設置する。

(事業)

第2条 美術館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 盆栽その他の盆栽文化に関する資料（以下「盆栽資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 盆栽文化に関する調査及び研究並びにその成果の展示、出版等に関すること。
- (3) 講演会、講習会等の主催、広報の発行その他の盆栽文化に関する普及活動に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

(休館日)

第3条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 木曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日である場合を除く。）
- (2) 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで

2 市長は、前項の規定にかかわらず、施設の管理運営上特に必要があると認めるときは、臨時に休館日进行定め、又は休館日に開館することができる。

(開館時間等)

第4条 美術館の開館時間は、次の各号に掲げる期間に応じ、当該各号に定めるとおりとする。ただし、常設展示室、企画展示室及び盆栽庭園へ入場することができる時間は、閉館する30分前までとする。

- (1) 3月から10月までの期間 午前9時から午後4時30分まで
- (2) 前号に掲げる期間以外の期間 午前9時から午後4時まで

2 市長は、前項に規定する開館時間又は入場時間を、事情により変更することができる。

(観覧料)

第5条 美術館が展示する盆栽資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、市長は、特別の盆栽資料（美術館が所蔵しない盆栽資料であって、その展示に特別の費用を要すると市長が認めるものをいう。別表第1において同じ。）を展示するときは、別表第1に

定める額の2倍に相当する額以下の範囲内において別に観覧料の額を定めることができる。

(特別使用の許可等)

第6条 美術館が所蔵している盆栽資料について、撮影又は原板の使用(第17条第2項第3号において「特別使用」という。)をしようとする者は、規則で定めるところによりあらかじめ市長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める特別使用料を納付しなければならない。

(施設等の利用)

第7条 企画展示室(盆栽広場を含む。以下同じ。)、講座室(盆栽テラスを含む。以下同じ。)及びこれらの施設の利用に伴う附属設備(以下「施設等」という。)は、美術館の事業に供していない期間については、美術館の設置の目的に即した利用に供することができる。

2 前項に規定する施設等及び駐車場を引き続いて利用することができる期間は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める期間とする。ただし、市長は、事情によりこれを変更することができる。

- (1) 企画展示室 15日
- (2) 講座室 7日
- (3) 附属設備 利用する企画展示室又は講座室の引き続いて利用することができる期間と同一の期間
- (4) 駐車場 1日

3 施設等を利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

4 市長は、前項の許可(変更の許可を含む。)をする場合において、施設等の管理上必要な条件を付することができる。

5 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、施設等の利用を許可しない。

- (1) 施設等の設置の目的に反するとき。
- (2) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (3) 施設等を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (4) 物品(展示する盆栽資料に係る図録、絵はがき、ポスターその他これらに類するものを除く。)の販売を目的とするとき。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき又は市長が適当でないと認めるとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第8条 前条第3項に規定する利用の許可(変更の許可を含む。)を受けた者(以下「利用者」という。)は、その権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別の設備等の制限)

第9条 利用者は、施設等を利用するに当たって、特別の設備をし、又は備付けの物品以外の物品を利用する場合は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

(利用の許可の取消し等)

第10条 市長は、利用者が次の各号のいずれかに該当するとき又は施設等の管理上特に必要があるときは、

当該許可に係る利用の条件を変更し、若しくは利用を停止し、又は当該許可を取り消すことができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。

(2) 偽りその他不正の行為により利用の許可を受けたとき。

(3) 利用の許可の条件又は関係職員の指示に従わないとき。

2 前項の措置によって利用者に損害が生じることがあっても、市は、その責めを負わない。

(使用料の納付)

第11条 利用者及び駐車場を利用しようとする者は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。

2 附属設備を利用しようとする者は、規則で定める使用料を納付しなければならない。

(入館の禁止等)

第12条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、美術館への入館を禁止し、又は退館を命じることができる。

(1) 美術館内の秩序を乱し、若しくは他の入館者に迷惑を及ぼし、又はこれらのおそれがあるとき。

(2) 盆栽資料又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。

(3) 前2号に掲げるもののほか、施設の管理上支障があるとき。

(観覧料等の減免)

第13条 市長は、必要があると認めるときは、第5条に規定する観覧料、第6条第2項に規定する特別使用料及び第11条に規定する使用料(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第14条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長は、特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(原状回復の義務)

第15条 利用者は、施設等の利用が終わったときは、速やかに当該施設等を原状に回復し、又は搬入した物件を撤去しなければならない。第10条第1項の規定により利用の停止又は許可の取消しの処分を受けたときも、同様とする。

2 利用者が、前項の規定による義務を履行しないときは、市長において原状に回復し、これに要した費用は、利用者の負担とする。

(損害賠償の義務)

第16条 故意又は過失により盆栽資料又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失した者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(指定管理者による管理)

第17条 市長は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であって市長が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に、施設の管理に関する業務のうち、次に掲

げるものを行わせることができる。

- (1) 第2条に規定する事業の実施に関すること。
- (2) 施設の維持管理に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認める業務

2 市長は、前項各号に掲げるもののほか、次に掲げる業務を指定管理者に行わせることができる。

- (1) 第3条第1項の規定にかかわらず、施設の管理運営上特に必要があると認めるときに、市長の承認を得て、臨時に休館日を定め、又は休館日に開館すること。
- (2) 第4条第1項の規定にかかわらず、施設の管理運営上特に必要があると認めるときに、市長の承認を得て、開館時間又は入場時間を変更すること。
- (3) 第6条第1項の規定により、特別使用を許可すること。
- (4) 第7条第2項の規定にかかわらず、施設等の管理運営上特に必要があると認めるときに、市長の承認を得て、引き続いて利用することができる期間を変更すること。
- (5) 第7条第3項の規定により、施設等の利用の許可若しくは許可に係る事項の変更の許可をすること又は同条第4項の規定により、許可に条件を付すること。
- (6) 第7条第5項の規定により、同項第1号から第4号までのいずれかに該当すると認めるとき又は施設等の管理上支障があるとき若しくは許可をすることが適当でないと認めるときに、許可をしないこと。
- (7) 第9条の規定により、特別の設備をし、又は備付けの物品以外の物品を利用する場合に許可をすること。
- (8) 第10条第1項の規定により、同項第1号若しくは第2号のいずれかに該当するとき、利用の許可の条件若しくは指定管理者の指示に従わないとき又は施設等の管理上特に必要があるときに、許可に係る利用の条件を変更し、若しくは利用を停止し、又は許可を取り消すこと。
- (9) 第12条の規定により、美術館への入館を禁止し、又は退館を命じること。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成22年3月28日から施行する。

附 則 (平成25年12月26日条例第46号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置の原則)

2 次項から第9項までに定めるものを除くほか、次の表の左欄に掲げる規定は、それぞれ、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後の同表の右欄に掲げる行為に係る使用料、利用料金、手数料等について適用し、施行日前の同欄に掲げる行為に係る使用料、利用料金、手数料等については、なお従前の例による。

略	略
第33条の規定による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例別表第1の規定	納付
第33条の規定による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例別表第2及び別表第3の規定	利用
略	略

附 則 (平成31年3月13日条例第2号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

(使用料等に関する経過措置)

2 この条例(第1条、第10条から第12条まで、第15条、第16条、第17条(同条中第6条の改正に限る。)、第18条、第30条及び第51条から第53条までの規定を除く。)による改正後のそれぞれの条例の規定は、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後に行う施設の使用等に係る使用料、利用料金等(以下「使用料等」という。)で施行日以後に納付するものについて適用し、施行日前に行った施設の使用等に係る使用料等で施行日前又は施行日以後に納付するもの及び施行日以後に行う施設の使用等に係る使用料等で施行日前に納付するものについては、なお従前の例による。

別表第1(第5条関係)

(一部改正〔平成25年条例46号・31年2号〕)

区 分	観覧料 (1人1回につき)		年間観覧料 (個人に限る。)
	個人	団体 (20人以上)	
一般	310円	200円	1,040円
高校生・大学生・65歳以上	150円	100円	520円
小学生・中学生	100円	50円	310円

備考

- 1 「一般」とは、15歳以上65歳未満の者で、次項及び第3項に該当する者以外のものをいう。
- 2 「高校生・大学生」とは、高等学校、専修学校及びこれらに準ずる学校並びに大学の生徒及び学生をいう。
- 3 「小学生・中学生」とは、義務教育諸学校の児童及び生徒をいう。
- 4 「年間観覧料」とは、同一人が1年間美術館の展示する盆栽資料(特別の盆栽資料を除く。)を観覧しようとする場合の観覧料をいう。

別表第2(第6条関係)

(一部改正〔平成25年条例46号・31年2号〕)

区 分	特別使用料(1点1回につき)
撮 影	学術研究用 540円
	そ の 他 4,400円
原板使用	学術研究用 540円
	そ の 他 3,300円

備考

- 1 盆栽は、1鉢を1点とする。
- 2 盆器、掛軸及び浮世絵は、1組を1点とする。
- 3 前2項に該当する盆栽資料以外のものは、1個を1点とする。
- 4 原板には、電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録をいう。)を含む。

別表第3(第11条関係)

(一部改正〔平成25年条例46号・31年2号〕)

施設の名称	利用区分	使用料
企画展示室	1日	8,000円
講座室	午前 (9時から12時まで)	1,980円
	午後 (13時から閉館時間まで)	1,980円
	1日	3,960円
駐車場	大型車	1台(1回につき)
	一般車	1台 (2時間を超える場合)
		超過時間30分(30分に満たないときは、30分とする。)ごとに100円を加算して得た額に100分の110を乗じて得た額

備考

- 施設等の利用の許可に係る日のうちに休館日(搬入又は搬出のために利用する日を除く。)がある場合は、当該休館日は、使用料を徴収しない。
- 企画展示室又は講座室の利用に係る搬入又は搬出に1日(講座室にあっては、午前、午後又は1日)を要する場合における企画展示室及び講座室の使用料は、当該使用料の額に100分の70を乗じて得た額とする。
- 企画展示室又は講座室の利用者が入場料その他これに類する料金(以下「入場料」という。)を徴収する場合(規則で定める場合を除く。)の企画展示室及び講座室の使用料には、当該使用料の額に次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額を加算する。
 - 1人1回について徴収する最高の入場料が1,000円未満のとき 100分の50
 - 1人1回について徴収する最高の入場料が1,000円以上のとき 100分の100
- 「大型車」とは、道路運送車両法施行規則(昭和26年運輸省令第74号。以下「省令」という。)別表第1に掲げる普通自動車のうち、貨物の運送の用に供するもの又は人の運送の用に供する乗車定員11人以上のものをいう。
- 「一般車」とは、次に掲げるものをいう。
 - 省令別表第1に掲げる普通自動車のうち、人の運送の用に供する乗車定員10人以下のもの
 - 省令別表第1に掲げる小型自動車及び軽自動車
- 使用料を計算する場合において、使用料の額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てる。

○さいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則

平成22年2月10日

規則第2号

改正 平成22年6月14日規則第80号

平成24年1月6日規則第1号

平成26年2月3日規則第16号

平成30年3月29日規則第47号

平成31年4月26日規則第58号

令和2年5月28日規則第80号

令和3年3月31日規則第32号

(趣旨)

第1条 この規則は、さいたま市大宮盆栽美術館条例(平成21年さいたま市条例第30号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(観覧券の交付等)

第2条 市長は、条例第5条第1項の規定により観覧料

(年間観覧料を除く。以下この項において同じ。)を納付した者に対し、観覧券を交付する。ただし、電磁的記録(電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。)の方法により観覧料が納付されたことを確認した場合は、この限りでない。

- 市長は、条例第5条第2項に規定する観覧料の額を納付した者に対し、特別の観覧券を交付する。
- 市長は、条例第5条第1項の規定により年間観覧料を納付した者(以下「年間観覧者」という。)に対し、年間観覧券を交付する。
- 年間観覧券の有効期間は、交付の日から起算して1年とする。
- 年間観覧者は、美術館が展示する盆栽資料(条例第5条第2項に規定する特別の盆栽資料を除く。)を観覧しようとするときは、有効な年間観覧券を提示しなければならない。
- 美術館が1月以上休館する場合において、当該休館期間の開始日が年間観覧券の有効期間内に存するときは、当該休館期間(その期間に1月未満の端数がある場合には、これを1月とする。)に相当する期間を、年間観覧券の有効期間に加えるものとする。
(一部改正〔平成30年規則47号・令和2年80号〕)

(特別使用手続)

第3条 条例第6条第1項の規定により特別使用の許可を受けようとする者は、あらかじめ、特別使用許可申請書(様式第1号)を市長に提出しなければならない。

- 条例第6条第1項の許可(以下「特別使用許可」という。)は、特別使用許可書兼領収書(様式第2号)を交付して行う。
- 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、特別使用を許可しない。
 - 美術館の設置の目的に寄与すると認められないとき。
 - 盆栽資料の保存に影響を及ぼすおそれがあるとき。
 - 盆栽資料を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
 - 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
 - 前各号に掲げるもののほか、特別使用をすることが適当でないとき。

4 市長は、特別使用許可をする場合において、必要な条件を付することができる。

5 特別使用許可を受けた者は、第2項の規定による特別使用許可書の交付と引換えに特別使用料を納付しなければならない。

(施設等の利用)

第4条 条例第7条第1項の規定による施設等の利用に係る搬入又は搬出については、条例第3条第1項第1号の規定にかかわらず、木曜日に行うことができる。

(施設等利用手続)

第5条 条例第7条第3項の規定による施設等の利用の許可又は許可に係る事項の変更の許可(以下「施設等

の利用許可等」という。)を受けようとする者は、次の各号に掲げる場合に依り、当該各号に定める書類を市長に提出しなければならない。

(1) 利用の許可を受けようとする場合 利用許可申請書(様式第3号)

(2) 許可に係る事項の変更の許可を受けようとする場合 利用変更許可申請書(様式第4号)

2 駐車場及び音声ガイド機器の利用の手続については、市長が別に定める。

(一部改正〔平成24年規則1号〕)

(利用の許可)

第6条 施設等の利用許可等は、次の各号に掲げる区分に依り、当該各号に定める書類を交付して行う。

(1) 利用の許可 利用許可書兼領収書(様式第5号)

(2) 許可に係る事項の変更の許可 利用変更許可書兼領収書(様式第6号)

(使用料の納付)

第7条 施設等の利用許可等を受けた者(以下「利用者」という。)は、前条各号に定める書類の交付と引換えに使用料を納付しなければならない。

(附属設備の使用料)

第8条 条例第11条第2項に規定する規則で定める使用料は、別表に定めるとおりとする。

(観覧料等の減免)

第9条 条例第13条の規定により観覧料等を減額し、又は免除する場合及びその割合は、次のとおりとする。

(1) 教育課程に基づく学習活動として学生、生徒又は児童及びその引率者が利用する場合 100分の100

(2) 市又は市教育委員会が主催する事業に利用する場合 100分の100

(3) 埼玉県又は埼玉県教育委員会が主催する事業に利用する場合 100分の100

(4) 前3号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める場合 市長が相当と認める割合

2 前項の規定により観覧料等の減額又は免除を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料等減額(免除)申請書(様式第7号)を市長に提出しなければならない。ただし、市長が提出を要しないと認めた者については、口頭で申請することができる。

3 市長は、前項の規定による申請を適当と認めるときは、観覧料等減額(免除)承認書(様式第8号)を交付してこれを承認する。この場合において、前項ただし書の規定による申請があったときは、当該書面の交付を省略することができる。

4 市長は、第1項に規定するもののほか、年間観覧者が有効な年間観覧券を提示して条例第5条第2項に規定する特別の盆栽資料を観覧しようとするときは、同項に規定する市長が別に定める観覧料から観覧料(年間観覧料を除く。)に相当する額を減額するものとする。

(一部改正〔平成22年規則80号〕)

(使用料の還付)

第10条 条例第14条ただし書の規定により、施設等の使用料を還付する場合及びその割合は、次のとおりとする。

(1) 施設の管理上特に必要があるため、市長が施設等の利用許可等を取り消した場合 100分の100

(2) 利用者の責めに帰することができない理由により、施設等を利用することができない場合 市長が相当と認める割合

(使用料加算額の特例)

第11条 条例別表第3備考第3項に規定する規則で定める場合は、次に掲げる場合とする。

(1) 市又は市教育委員会が主催して行う事業で入場料その他これに類する料金を徴収する場合

(2) 埼玉県又は埼玉県教育委員会が主催して行う事業で入場料その他これに類する料金を徴収する場合

(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める場合

(図録等の販売の承認)

第12条 利用者が、許可を受けた施設等を利用する場合において、展示する盆栽資料に係る図録、絵はがき、ポスターその他これらに類するものを販売しようとするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。

(管理上の立入り)

第13条 市長は、施設の管理上必要があると認めるときは、施設等の維持のため利用されている施設に関係職員を立ち入らせることができる。

(遵守事項及び市長の指示)

第14条 市長は、美術館の入館者の遵守事項を定め、かつ、施設の管理上必要があると認めるときは、入館者に対し、その都度指示することができる。

(盆栽資料の館外貸出し)

第15条 市長は、他の美術館その他市長が適当と認めるものに対し、美術館が所蔵している盆栽資料の貸出しをすることができる。

2 前項の規定による貸出し(以下「館外貸出し」という。)を受けようとする者は、あらかじめ館外貸出許可申請書(様式第9号)を市長に提出し、許可を受けなければならない。許可に係る事項を変更しようとするときも、同様とする。

3 前項の許可(変更の許可を含む。)は、館外貸出許可書(様式第10号)を交付して行う。

4 館外貸出しの期間は、60日以内とする。ただし、市長は、必要があると認めるときは、これを延長することができる。

(寄贈及び寄託)

第16条 市長は、盆栽資料の寄贈(以下「寄贈」という。)及び盆栽以外の盆栽資料の寄託(以下「寄託」という。)を受けることができる。

2 寄贈又は寄託をしようとする者は、寄贈にあつては寄贈申請書(様式第11号)を、寄託にあつては寄託

申請書（様式第12号）を市長に提出するものとする。

3 市長は、寄贈又は寄託を受けることを決定したときは、前項の規定により申請をした者に対し、寄贈にあつては受領書（様式第13号）を、寄託にあつては受託書（様式第14号）を交付する。

4 寄託を受けた盆栽以外の盆栽資料（次項において「寄託品」という。）は、美術館が所蔵する盆栽資料と同様の取扱いをするものとする。ただし、その館外貸出しについては、寄託をした者の承認を得なければならない。

5 市長は、寄託品に災害その他の不可抗力による損害があつたときは、その責めを負わない。

（指定管理者に関する読替え）

第17条 条例第17条の規定により指定管理者が施設の管理に関する業務を行う場合についての第2条第1項から第3項まで、第3条第3項から第5項まで、第5条第1項、第7条、第9条第2項、第10条第1号、第13条並びに第14条の規定の適用については、これらの規定中「市長」とあるのは「指定管理者」とする。

（その他）

第18条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成22年3月28日から施行する。

附 則（平成22年6月14日規則第80号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成24年1月6日規則第1号）

この規則は、平成24年1月13日から施行する。

附 則（平成26年2月3日規則第16号）

（施行期日）

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則別表の規定は、この規則の施行の日以後の利用に係る使用料について適用し、同日前の利用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成30年3月29日規則第47号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年4月26日規則第58号）

（施行期日）

1 この規則は、平成31年10月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則別表の規定は、この規則の施行の日（以下「施行日」という。）以後の附属設備の利用に係る使用料で施行日以後に納付するものについて適用し、施行日以前の附属設備の利用に係る使用料で施行日前又は施行日以後に納付するもの及び施行日以後の附属設備の利用に係る使用料で施行日前に納付するものについては、なお従前の例による。

附 則（令和2年5月28日規則第80号）

（施行期日等）

1 この規則は、公布の日から施行し、この規則による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則第2条第6項の規定は、令和2年3月2日（以下「適用日」という。）から適用する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のさいたま市大宮盆栽美術館条例施行規則第2条第6項の規定は、適用日以後に有効期間が満了する年間観覧券について適用し、適用日前に有効期間が満了した年間観覧券については、なお従前の例による。

附 則（令和3年3月31日規則第32号）

（施行期日）

1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定により作成されている様式については、当分の間、使用することができる。

別表（第8条関係）

（一部改正〔平成24年規則1号・26年16号〕）

1 企画展示室の附属設備の使用料

附属設備の名称	単位	使用料（1日につき）	備考
スポットライト	1台	50円	
AV装置	1式	2,780円	

2 講座室の附属設備の使用料

附属設備の名称	単位	使用料（1回につき）	備考
移動展示パネル	1台	50円	
拡声装置	1式	590円	CDプレーヤー、カセットプレーヤー及びマイクを含む。

3 その他の附属設備の使用料

附属設備の名称	単位	使用料（1回につき）	備考
音声ガイド機器	1台	310円	
DLPプロジェクター	1式	1,040円	アジャスターテーブルを含む。
移動式スクリーン	1台	200円	
持込み電気器具用電源	1キロワット	100円	単位は、持込み器具1台につき表示された消費電力による。1キロワットに満たない場合は、1キロワットとする。

備考 この表による使用料は、条例別表第3に規定する使用料の利用区分に従い、同表の午前又は午後の利用をもって1回、同表の1日の利用をもって2回として計算する。ただし、企画展示室の附属設備の使用料は1日の利用を1回として計算する。

様式 略

さいたま市規則56号

さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会規則

（趣旨）

第1条 この規則は、さいたま市附属機関の設置等に関する条例（平成26年さいたま市条例第2号）第6条の規定に基づき、さいたま市大宮盆栽美術館運営委員

会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（委員長及び副委員長）

第2条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第3条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長をもって充てる。

3 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

4 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者に対し、出席を求めて説明若しくは意見を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

（会議の公開）

第4条 委員会の会議は、公開とする。ただし、出席した委員の過半数の同意を得たときは、公開しないことができる。

（庶務）

第5条 委員会の庶務は、スポーツ文化局において処理する。

（一部改正〔平成27年規則36号〕）

（委任）

第6条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月20日規則第36号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

さいたま市条例26号

さいたま市盆栽資料等選考評価委員会条例

（設置）

第1条 市長の諮問に応じ、大宮盆栽美術館に収蔵する盆栽その他美術品等（以下「盆栽資料等」という。）の収集に係る選考及び評価に関し必要な事項について調査審議するため、さいたま市盆栽資料等選考評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（組織）

第2条 委員会は、委員6人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験を有する者のうちから、市長が委嘱する。

（任期）

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（臨時委員）

第4条 委員会に、盆栽資料等の収集に係る選考及び評価に当たって特別の事項を調査審議させるため、臨時委員を置くことができる。

2 臨時委員は、学識経験を有する者のうちから、市長が委嘱する。

3 臨時委員の任期は、特別の事項に関する調査審議が終了するまでとする。

（委員長）

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

（会議）

第6条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長をもって充てる。

3 委員会は、委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

4 委員会の議事は、出席した委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 委員長が必要と認めるときは、委員及び議事に関係のある臨時委員以外の者に対し、出席を求めて説明若しくは意見を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

6 選考又は評価の対象となる盆栽資料等に係る直接の利害関係を有する委員及び議事に関係のある臨時委員は、その会議に参加することができない。

（会議の公開）

第7条 会議は、公開とする。ただし、盆栽資料等の選考及び評価に係る審議の手續は、公開しない。

（守秘義務）

第8条 委員会の委員及び臨時委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

（庶務）

第9条 委員会の庶務は、スポーツ文化局において処理する。

（委任）

第10条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

さいたま市大宮盆栽美術館 年報 第13号

発行日 令和5年(2023)9月7日
編集・発行 さいたま市大宮盆栽美術館
〒331-0804 さいたま市北区土呂町2-24-3
電話 048-780-2091
FAX 048-668-2323
印刷 株式会社 エビス

本冊子は、200部発行し、1部あたりの印刷経費は1,496円です。



さいたま市 大宮盆栽美術館